

II 調査結果の概要

1 調査結果の概要（県）

(1) 移動理由別移動者数

最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入、県外転出及び県内移動を合わせた 4,138 人のうち、「原因者」（「移動の原因となる人」をいう。）は 3,330 人（80.5%）、「同伴者」は 809 人（19.5%）であった。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 1,063 人（31.9%）、「転勤」が 646 人（19.4%）、「結婚・離婚・縁組」が 454 人（13.6%）、「就学」が 306 人（9.2%）、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 230 人（6.9%）、「生活の利便性」が 147 人（4.4%）、「退職・廃業」が 79 人（2.4%）、「交通の利便性」が 57 人（1.7%）、「卒業」が 13 人（0.4%）となっている。

なお、「その他」は 336 人（10.1%）となっている。（表 1、図 1・2）

また、原因者を国内の移動者に限定すると、「就職・転職・転業」が 904 人（32.5%）、「転勤」が 606 人（21.8%）、「結婚・離婚・縁組」が 442 人（15.9%）、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 230 人（8.2%）、「生活の利便性」が 141 人（5.1%）、「退職・廃業」が 76 人（2.7%）、「交通の利便性」が 56 人（2.0%）、「就学」が 54 人（1.9%）、「卒業」が 4 人（0.1%）となっている。（表 1、図 3）

表 1 移動理由別移動者数【茨城県】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
県外転入	1,563	1,318	420	255	43	265	4	106	47	12	45	121	245
（うち国内）	1,088	860	276	239	42	19	1	99	47	11	40	86	228
（うち国外）	475	458	144	16	1	246	3	7	-	1	5	35	17
県外転出	1,445	1,218	514	297	27	35	8	132	35	21	37	112	227
（うち国内）	1,329	1,129	499	273	25	29	2	127	35	21	36	82	200
（うち国外）	116	89	15	24	2	6	6	5	-	-	1	30	27
県内移動	1,130	794	129	94	9	6	1	216	148	24	65	103	337
（県内転入）	1,118	769	141	91	10	6	1	201	135	27	61	96	349
（県内転出）	1,142	818	117	97	8	6	-	230	160	21	69	110	324
計	4,138	3,330	1,063	646	79	306	13	454	230	57	147	336	809

単位：人

※「県内移動」……（県内転入＋県内転出）× 1 / 2 端数は四捨五入

図 1 原因者の移動理由別移動者数【茨城県】

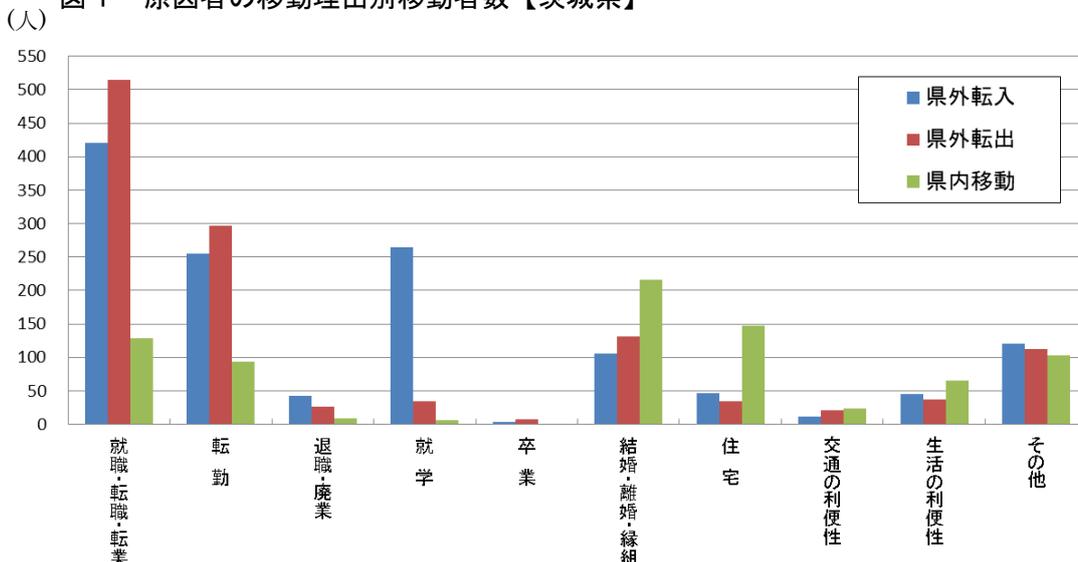


図2 移動理由割合 茨城県（総数）

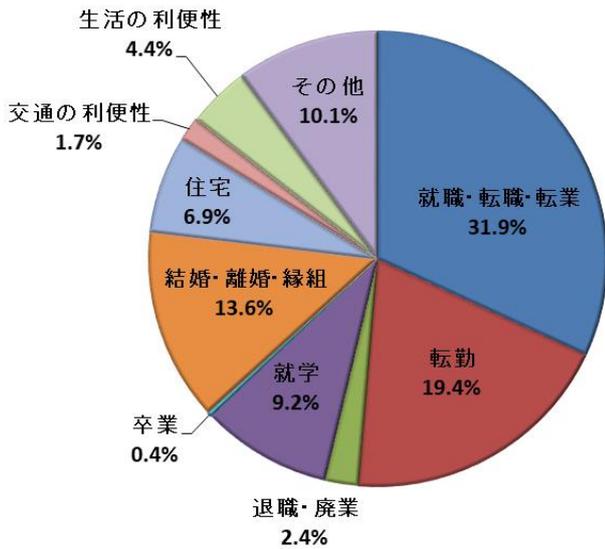
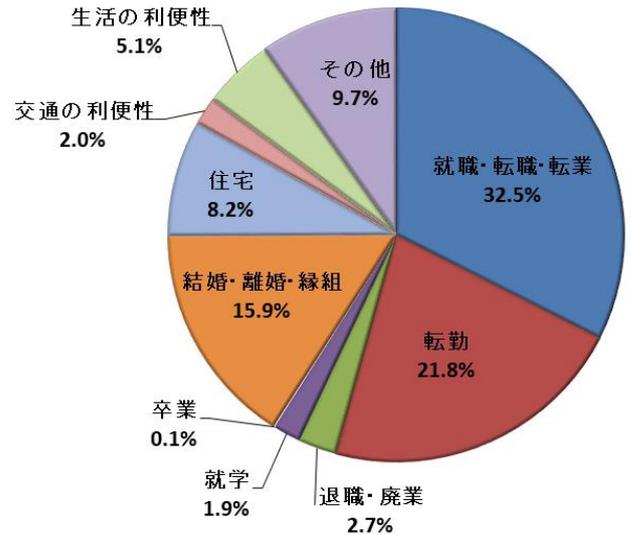


図3 移動理由割合 茨城県（総数）

※国外を含まず



ア 県外転入

県外転入で最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入では、総数 1,563 人のうち、「原因者」が 1,318 人（84.3%）で、「同伴者」は 245 人（15.7%）であった。（表1）

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 420 人（31.9%）、「就学」が 265 人（20.1%）、「転勤」が 255 人（19.3%）、「結婚・離婚・縁組」が 106 人（8.0%）、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 47 人（3.6%）、「生活の利便性」が 45 人（3.4%）、「退職・廃業」が 43 人（3.3%）、「交通の利便性」が 12 人（0.9%）となっている。（表1，図4）

また、原因者を国内の転入者に限定すると、「就職・転職・転業」が 276 人（32.1%）、「転勤」が 239 人（27.8%）、「結婚・離婚・縁組」が 99 人（11.5%）、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 47 人（5.5%）、「退職・廃業」が 42 人（4.9%）、「生活の利便性」が 40 人（4.7%）、「就学」が 19 人（2.2%）、「交通の利便性」が 11 人（1.3%）、「卒業」が 1 人（0.1%）となっている。（表1，図5）

図4 移動理由割合 茨城県（県外転入）

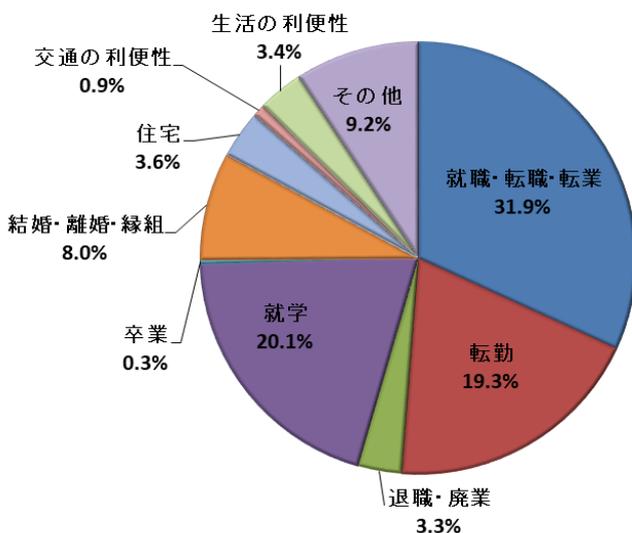
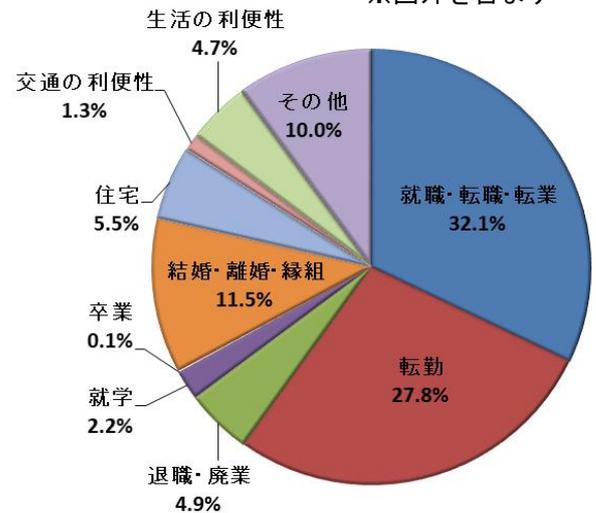


図5 移動理由割合 茨城県（県外転入）

※国外を含まず



イ 県外転出

県外転出で最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転出では、総数 1,445 人のうち、「原因者」が 1,218 人 (84.3%) で、「同伴者」は 227 人 (15.7%) であった。(表 1)

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 514 人 (42.2%)、「転勤」が 297 人 (24.4%)、「結婚・離婚・縁組」が 132 人 (10.8%)、「生活の利便性」が 37 人 (3.0%)、「就学」が 35 人 (2.9%)、「住宅 (新築・購入・借り換え)」が 35 人 (2.9%)、「退職・廃業」が 27 人 (2.2%)、「交通の利便性」が 21 人 (1.7%)、「卒業」が 8 人 (0.7%) となっている。(表 1, 図 6)

また、原因者を国内の転出者に限定すると、「就職・転職・転業」が 499 人 (44.2%)、「転勤」が 273 人 (24.2%)、「結婚・離婚・縁組」が 127 人 (11.2%)、「生活の利便性」が 36 人 (3.2%)、「住宅 (新築・購入・借り換え)」が 35 人 (3.1%)、「就学」が 29 人 (2.6%)、「退職・廃業」が 25 人 (2.2%)、「交通の利便性」が 21 人 (1.9%)、「卒業」が 2 人 (0.2%) となっている。(表 1, 図 7)

図 6 移動理由割合 茨城県 (県外転出)

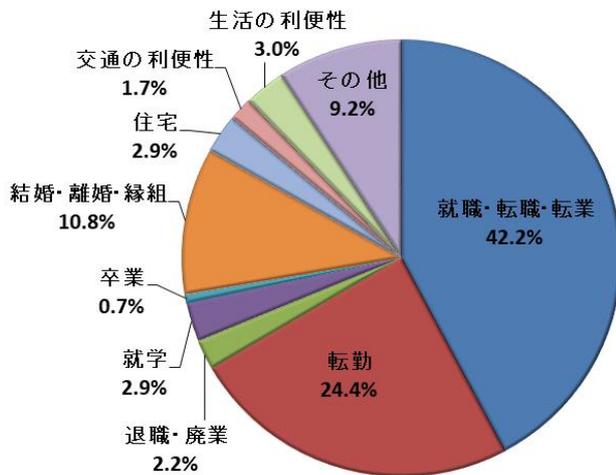
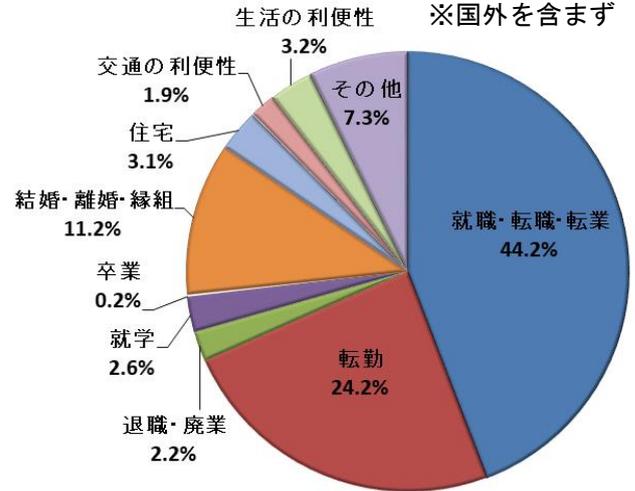


図 7 移動理由割合 茨城県 (県外転出)



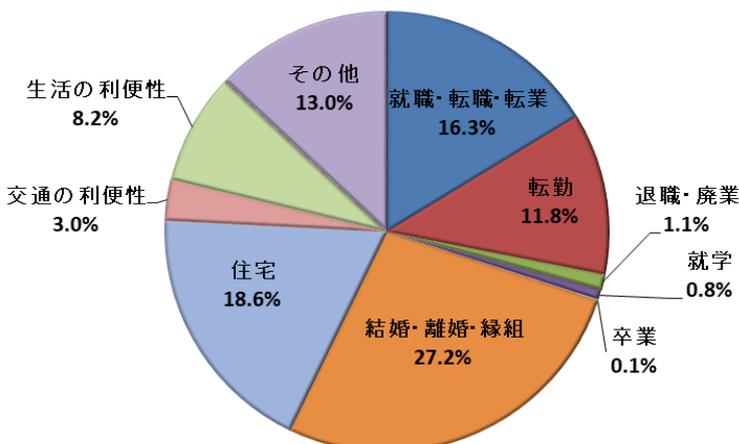
ウ 県内移動

県内移動で最も多い理由は「結婚・離婚・縁組」

県内移動では、総数 1,130 人のうち、「原因者」が 794 人 (70.2%) で、「同伴者」は 337 人 (29.8%) であった。

原因者について理由別にみると、「結婚・離婚・縁組」が 216 人 (27.2%)、「住宅 (新築・購入・借り換え)」が 148 人 (18.6%)、「就職・転職・転業」が 129 人 (16.3%)、「転勤」が 94 人 (11.8%)、「生活の利便性」が 65 人 (8.2%)、「交通の利便性」が 24 人 (3.0%)、「退職・廃業」が 9 人 (1.1%)、「就学」が 6 人 (0.8%)、「卒業」が 1 人 (0.1%) となっている。(表 1, 図 8)

図 8 移動理由割合 茨城県 (県内移動)

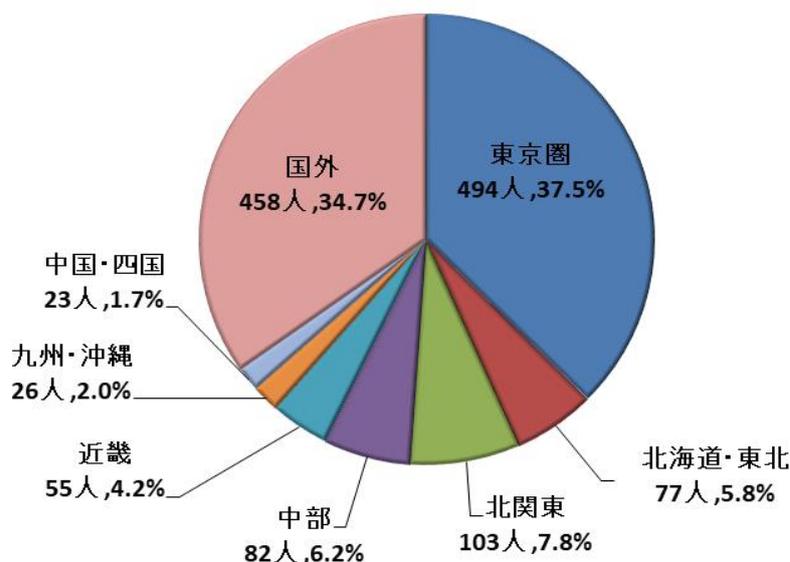


(2) 移動地(県外)別移動者数

ア 県外転入

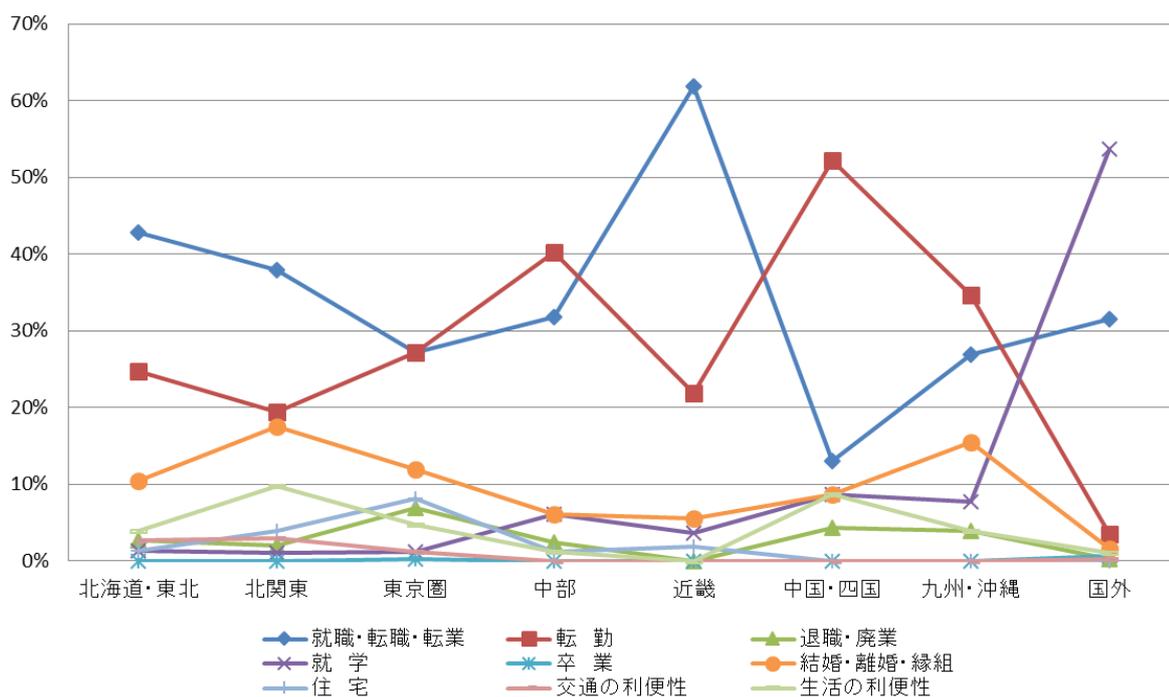
県外転入者 1,563 人のうち原因者 1,318 人の従前の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県）が 494 人（37.5%）と最も多く，次いで北関東が 103 人（7.8%），中部が 82 人（6.2%），北海道・東北が 77 人（5.8%），近畿が 55 人（4.2%），九州・沖縄が 26 人（2.0%），中国・四国が 23 人（1.7%）となっている。また，国外は 458 人（34.7%）となっている。（図 9）

図 9 地域区分別県外転入者数【茨城県】



県外転入者の転入元別に最も多い移動理由をみると，北海道・東北（42.9%），北関東（37.9%）及び近畿（61.8%）は「就職・転職・転業」，中部（40.2%），中国・四国（52.2%）及び九州・沖縄（34.6%）は「転勤」，東京圏（27.1%）は「就職・転職・転業」と「転勤」が同数となっており，国外（53.7%）は「就学」となっている。（図 10）

図 10 県外転入者の転入元別移動理由割合【茨城県】



イ 東京圏からの転入

県外転入者のうち原因者について、転入元の住所地を東京圏に絞って移動理由をみると、「就職・転職・転業」が134人(27.1%)、「転勤」が134人(27.1%)、「結婚・離婚・縁組」が59人(11.9%)、「住宅(新築・購入・借り換え)」が40人(8.1%)、「退職・廃業」が34人(6.9%)、「生活の利便性」が23人(4.7%)、「就学」が6人(1.2%)、「交通の利便性」が6人(1.2%)、「卒業」が1人(0.2%)となっている。(表2、図11)

表2 移動理由別転入者数【茨城県】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
東京圏	629	494	134	134	34	6	1	59	40	6	23	57	135
東京圏外	459	366	142	105	8	13	-	40	7	5	17	29	93
国外	475	458	144	16	1	246	3	7	-	1	5	35	17
計	1,563	1,318	420	255	43	265	4	106	47	12	45	121	245

図11 東京圏からの転入者数【茨城県】

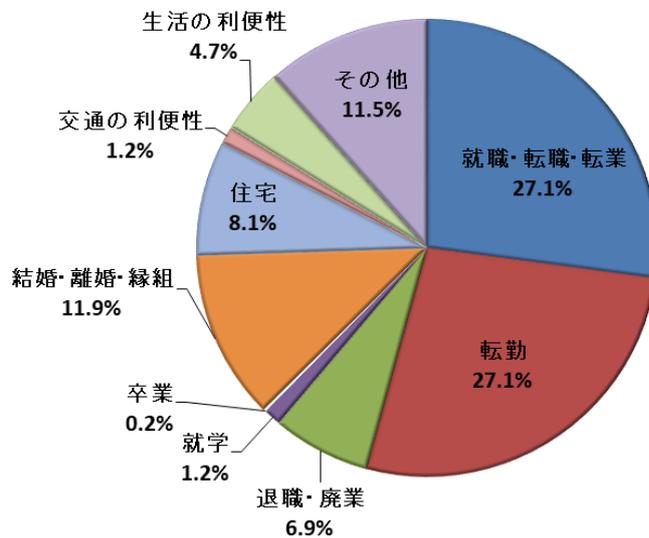
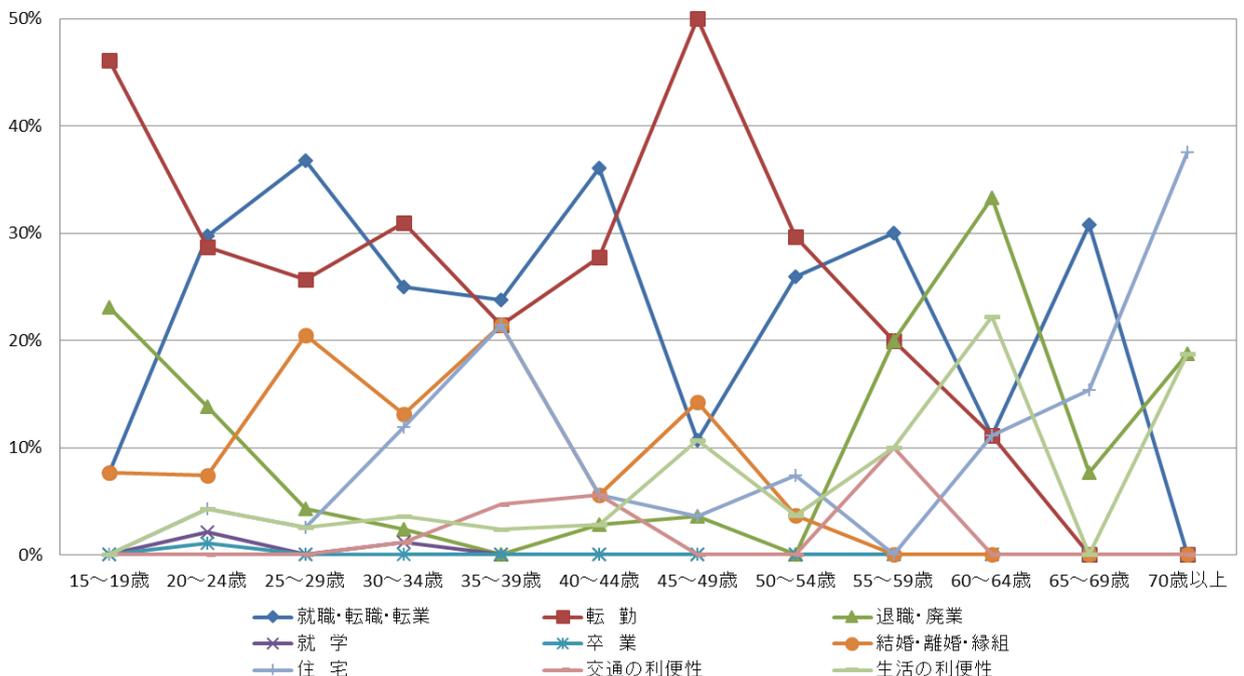
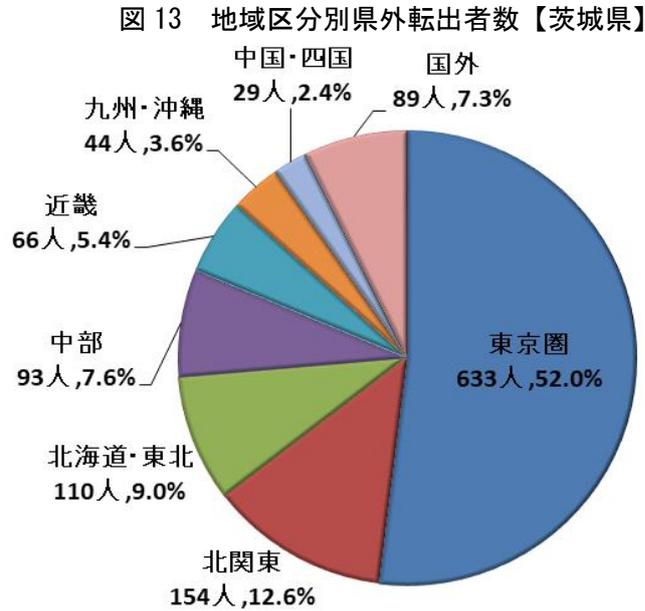


図12 東京圏からの転入者の年齢階級別移動理由割合【茨城県】(15歳以上原因者)



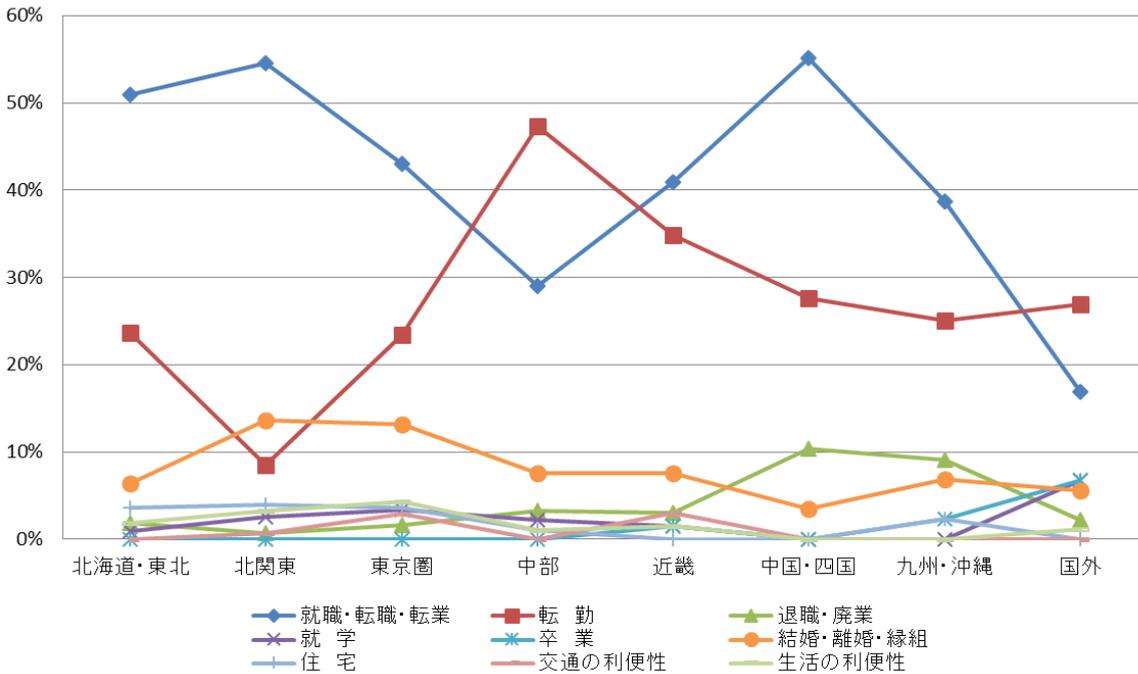
ウ 県外転出

県外転出者 1,445 人のうち原因者 1,218 人の転出先の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏が 633 人 (52.0%) と最も多く、次いで北関東が 154 人 (12.6%)、北海道・東北が 110 人 (9.0%)、中部が 93 人 (7.6%)、近畿が 66 人 (5.4%)、九州・沖縄が 44 人 (3.6%)、中国・四国が 29 人 (2.4%) となっている。また、国外は 89 人 (7.3%) となっている。(図 13)



県外転出者の転出先別に最も多い移動理由をみると、北海道・東北 (50.9%)、北関東 (54.5%)、東京圏 (43.0%)、近畿 (40.9%)、中国・四国 (55.2%) 及び九州・沖縄 (38.6%) は「就職・転職・転業」、中部 (47.3%) 及び国外 (27.0%) は「転勤」となっている。(図 14)

図 14 県外転出者の転出先別移動理由割合【茨城県】



エ 東京圏への転出

県外転出者のうち原因者について、転出先の住所地を東京圏に絞って移動理由をみると、「就職・転職・転業」が272人(43.0%)、「転勤」が148人(23.4%)、「結婚・離婚・縁組」が83人(13.1%)、「生活の利便性」が27人(4.3%)、「住宅(新築・購入・借り換え)」が23人(3.6%)、「就学」が21人(3.3%)、「交通の利便性」が18人(2.8%)、「退職・廃業」が10人(1.6%)となっている。(表3、図15)

表3 移動理由別転出者数【茨城県】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
東京圏	744	633	272	148	10	21	-	83	23	18	27	31	111
東京圏外	585	496	227	125	15	8	2	44	12	3	9	51	89
国外	116	89	15	24	2	6	6	5	-	-	1	30	27
計	1,445	1,218	514	297	27	35	8	132	35	21	37	112	227

図15 東京圏への転出者数【茨城県】

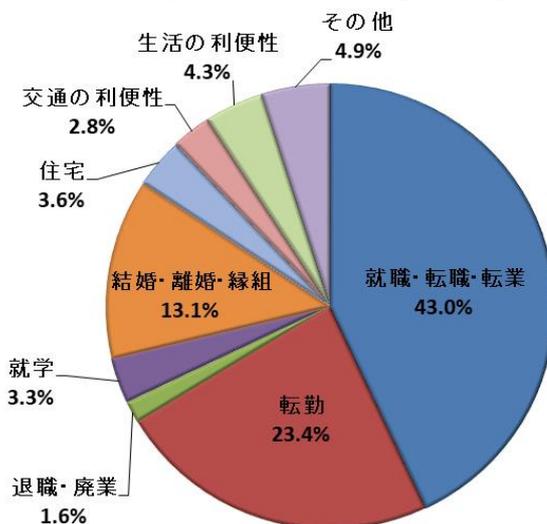
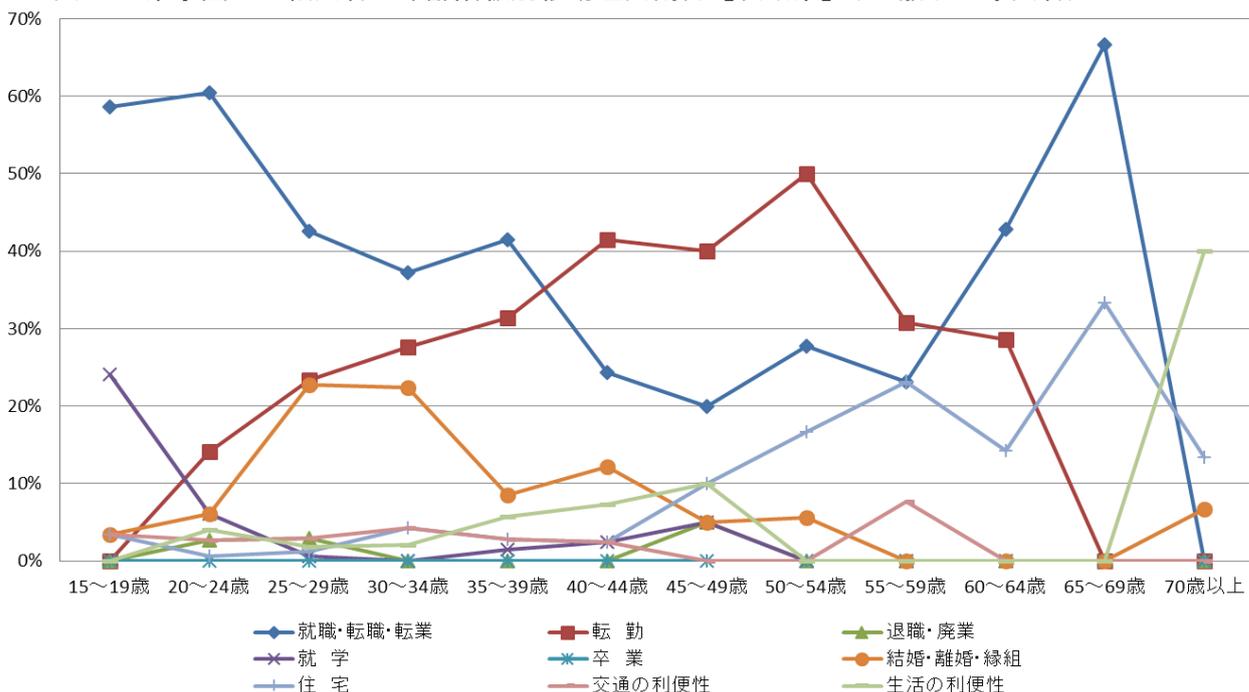


図16 東京圏への転出者の年齢階級別移動理由割合【茨城県】(15歳以上原因者)



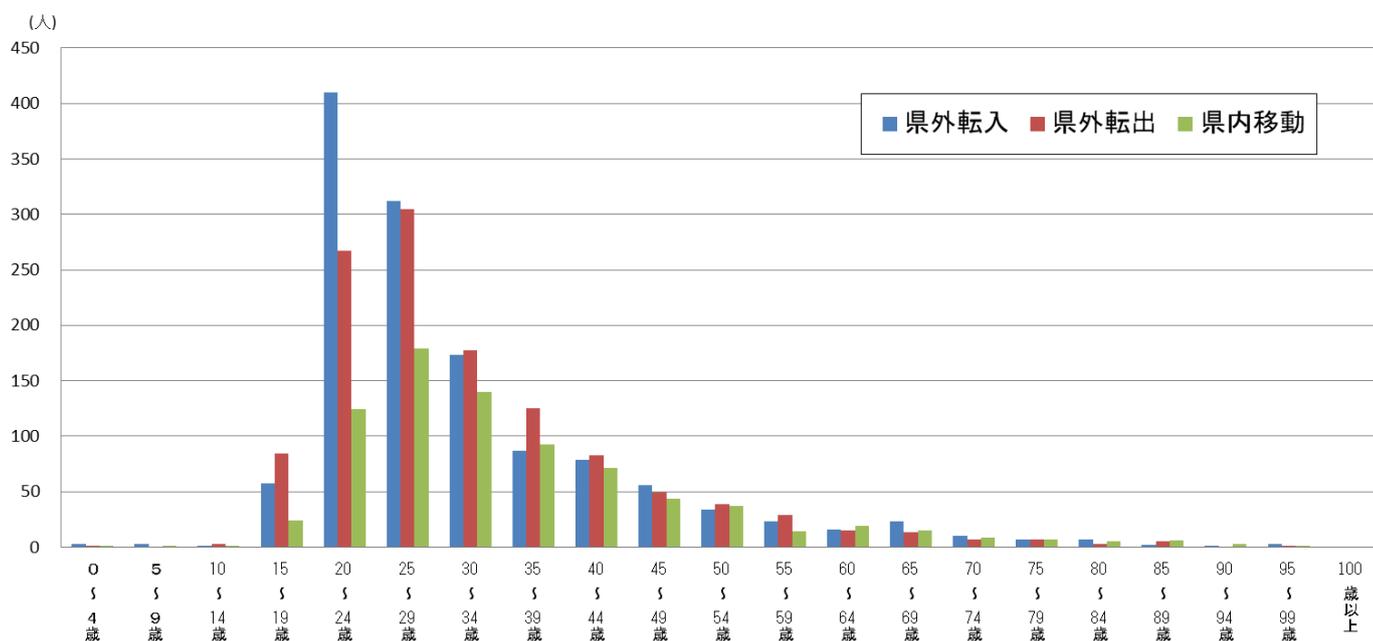
(3) 年齢(5歳階級)別移動者数

県外転入、県外転出及び県内移動を合わせた4,138人のうち、「原因者」3,330人について年齢(5歳階級)別にみると、県外転入者では「20～24歳」が410人で全体の31.4%を占めている。次いで、「25～29歳」が312人(23.9%)、「30～34歳」が173人(13.2%)、「35～39歳」が87人(6.7%)となっており、20代、30代で全体の75.1%を占めている。

県外転出者をみると、「25～29歳」が305人で全体の25.1%を占めている。次いで、「20～24歳」が267人(22.0%)、「30～34歳」が177人(14.6%)、「35～39歳」が125人(10.3%)となっており、20代、30代で全体の72.1%を占めている。

県内移動の移動者数をみると、「25～29歳」が179人で最も多く、県内移動全体の22.6%を占めている。次いで、「30～34歳」が140人(17.6%)、「20～24歳」が125人(15.7%)、「35～39歳」が93人(11.7%)となっており、20代、30代で全体の67.6%を占めている。(図17)

図17 原因者の年齢(5歳階級)別移動者数【茨城県】



(4) 年齢(5歳階級)・移動理由別移動者数

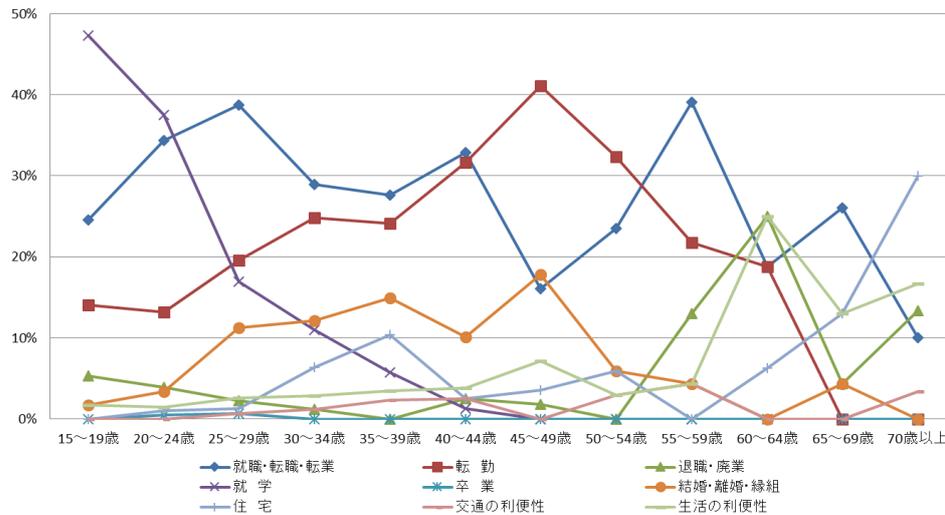
ア 県外転入

最も高い移動理由割合をみると、15歳から24歳の各年齢階級では「就学」で、「15～19歳」は47.4%、「20～24歳」は37.6%、となっている。

25歳から44歳、55歳から59歳、65歳から69歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「25～29歳」は38.8%、「30～34歳」は28.9%、「35～39歳」は27.6%、「40～44歳」は32.9%、「55～59歳」は39.1%、「65～69歳」は26.1%となっている。

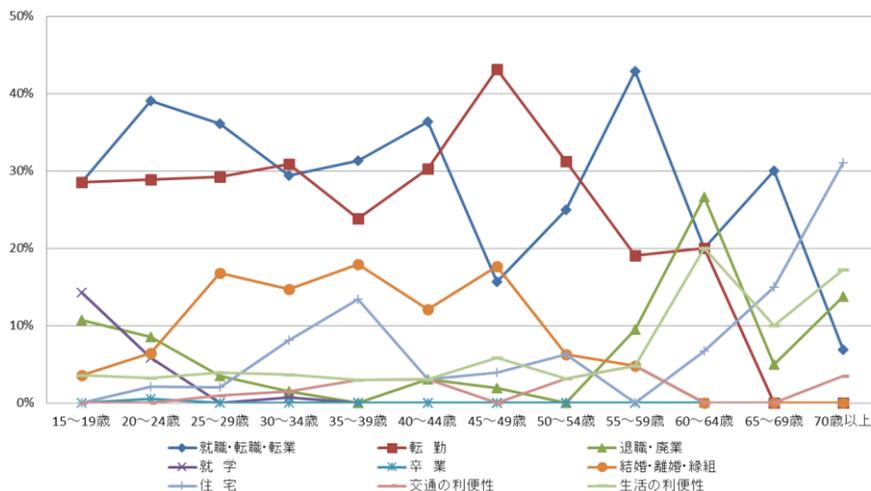
45歳から54歳の各年齢階級では「転勤」で、「45～49歳」は41.1%、「50～54歳」は32.4%となっている。「60～64歳」では「退職・廃業」と「生活の利便性」が同数となっており、25.0%となっている。70歳以上では「住宅(新築・購入・借り換え)」で30.0%となっている。(図18)

図18 県外転入者の年齢階級別移動理由割合【茨城県】(15歳以上原因者)



また、国内の転入者に限定して、最も高い移動理由割合をみると、15歳から19歳では「就職・転職・転業」と「転勤」が同数となっており、28.6%となっている。20歳から29歳、35歳から44歳、55歳から59歳、65歳から69歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「20～24歳」は39.0%、「25～29歳」は36.1%、「35～39歳」は31.3%、「40～44歳」は36.4%、「55～59歳」は42.9%、「65～69歳」は30.0%となっている。30歳から34歳、45歳から54歳の各年齢階級では「転勤」で、「30～34歳」は30.9%、「45歳～49歳」は43.1%、「50歳～54歳」は31.3%などとなっている。(図19)

図19 県外転入者の年齢階級別移動理由割合【茨城県】(15歳以上原因者) ※国外を含まず



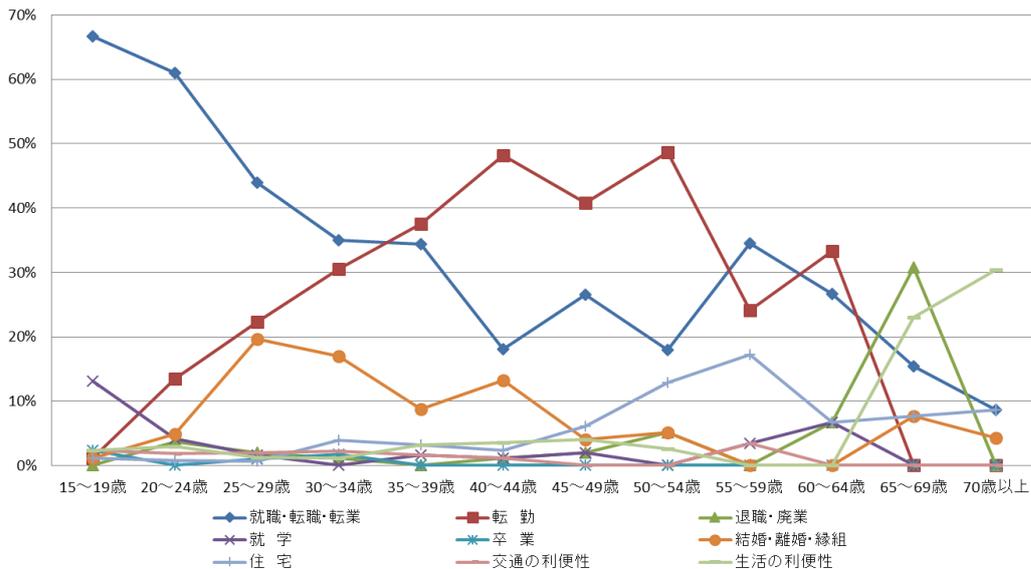
イ 県外転出

最も高い移動理由割合をみると、15歳から34歳、55歳から59歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「15～19歳」は66.7%、「20～24歳」は61.0%、「25～29歳」は43.9%、「30～34歳」は35.0%、「55～59歳」は34.5%となっている。

35歳から54歳、60歳から64歳の各年齢階級では「転勤」の割合が最も高く、「35～39歳」は37.6%、「40～44歳」は48.2%、「45～49歳」は40.8%、「50～54歳」は48.7%、「60～64歳」は33.3%となっている。「65～69歳」は「退職・廃業」で30.8%となっている。

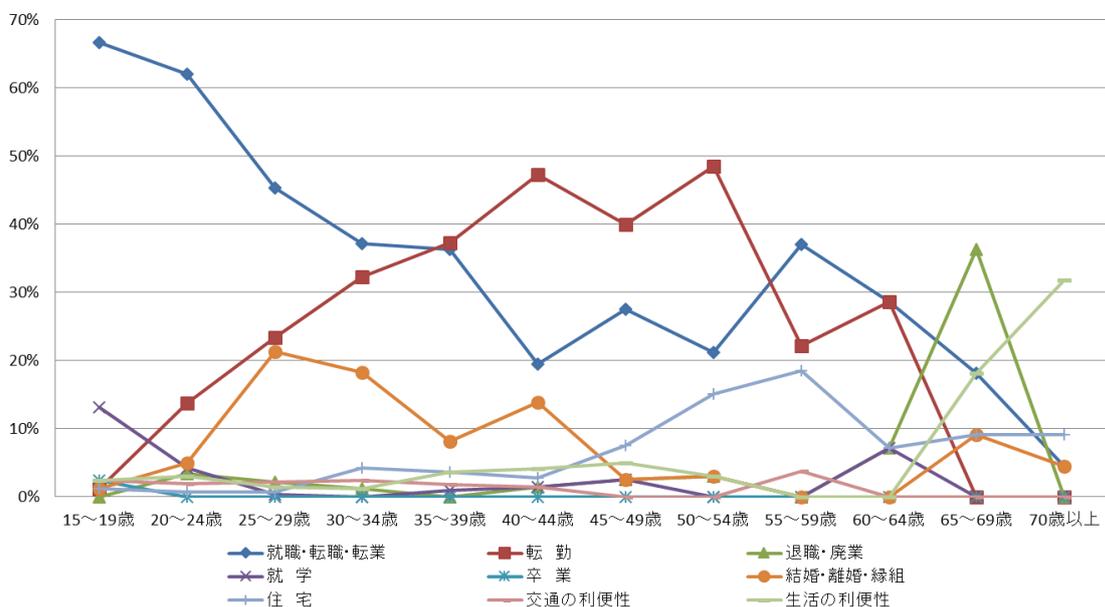
70歳以上では「生活の利便性」で30.4%となっている。(図20)

図20 県外転出者の年齢階級別移動理由割合【茨城県】(15歳以上原因者)



また、国内の転出者に限定して、最も高い移動理由割合をみると、15歳から34歳、55歳から59歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「15～19歳」は66.7%、「20～24歳」は62.1%、「25～29歳」は45.4%、「30～34歳」は37.2%、「55～59歳」は37.0%となっている。35歳から54歳の各年齢階級では「転勤」の割合が最も高く、「35～39歳」は37.3%、「40～44歳」は47.2%、「45～49歳」は40.0%、「50～54歳」は48.5%となっている。「60～64歳」は「就職・転職・転業」と「転勤」が同数でそれぞれ28.6%などとなっている。(図21)

図21 県外転出者の年齢階級別移動理由割合【茨城県】(15歳以上原因者) ※国外を含まず



ウ 県内移動

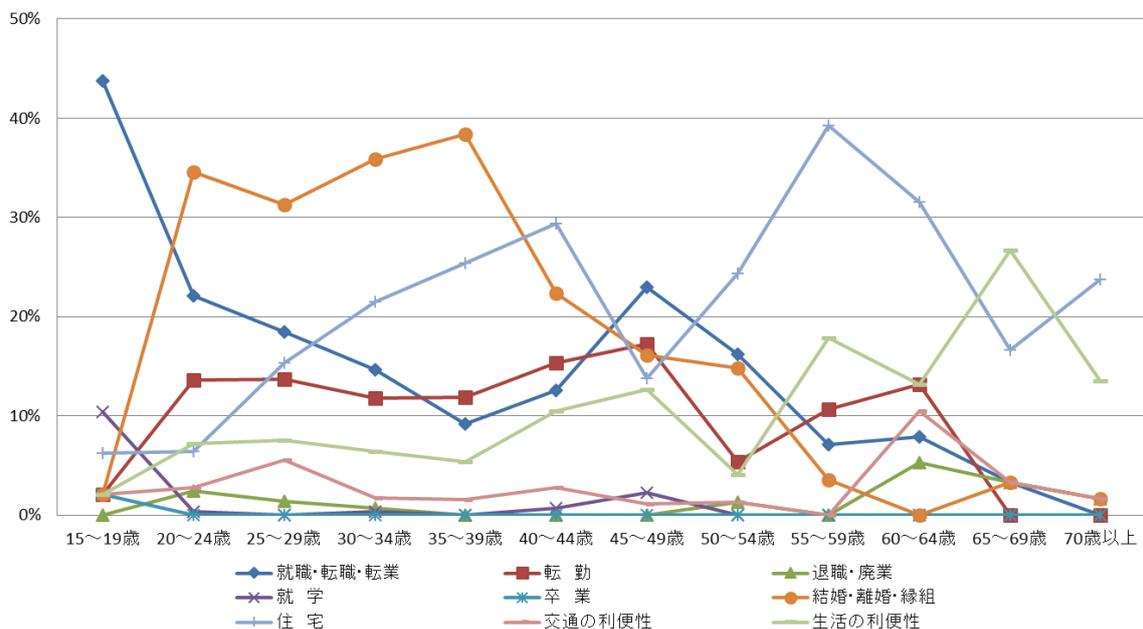
最も高い移動理由割合をみると、15歳から19歳、45歳から49歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「15～19歳」は43.8%、「45～49歳」は23.0%となっている。

20歳から39歳の各年齢階級では「結婚・離婚・縁組」の割合が最も高く、「20～24歳」は34.5%、「25～29歳」は31.3%、「30～34歳」は35.8%、「35～39歳」は38.4%となっている。

40歳から44歳、50歳から64歳、70歳以上の各年齢階級では「住宅（新築・購入・借り換え）」で、「40～44歳」は29.4%、「50～54歳」は24.3%、「55～59歳」は39.3%、「60～64歳」は31.6%、「70歳以上」は23.7%となっている。

「65歳～69歳」は「生活の利便性」の割合が最も高く、26.7%となっている。（図22）

図22 県内移動者の年齢階級別移動理由割合【茨城県】（15歳以上原因者）



2 調査結果の概要（地域別）

○県北地域

(1) 移動理由別移動者数

最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入、県外転出及び県内移動を合わせた703人のうち、「原因者」は566人（80.5%）、「同伴者」は137人（19.5%）となっている。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が38.3%、「転勤」が25.4%、「結婚・離婚・縁組」が11.7%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が6.4%、「就学」が2.6%、「退職・廃業」が2.3%、「生活の利便性」が2.1%、「交通の利便性」が1.1%、「卒業」が0.4%となっている。

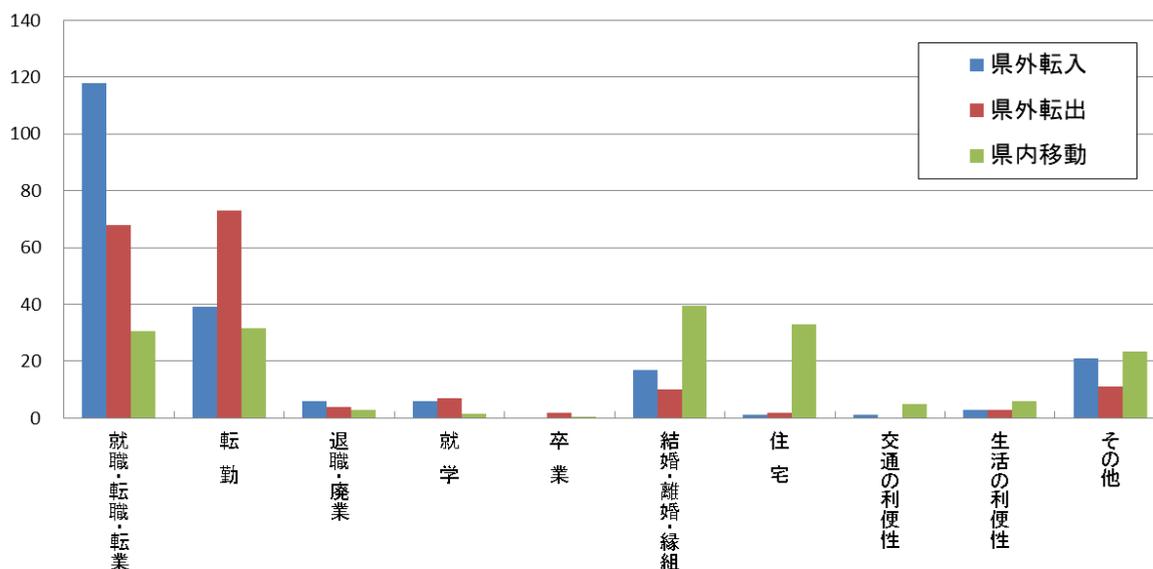
なお、「その他」9.8%となっている。（表4、図23・24）

表4 移動理由別移動者数【県北地域】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
県外転入	250	212	118	39	6	6	-	17	1	1	3	21	38
（うち国内）	157	121	39	37	6	4	-	15	1	1	3	15	36
（うち国外）	93	91	79	2	-	2	-	2	-	-	-	6	2
県外転出	218	180	68	73	4	7	2	10	2	-	3	11	38
（うち国内）	199	167	66	66	4	6	2	10	2	-	3	8	32
（うち国外）	19	13	2	7	-	1	-	-	-	-	-	3	6
県内移動	235	174	31	32	3	2	1	40	33	5	6	24	61
（県内転入）	204	147	26	23	5	-	1	35	30	3	2	22	57
（県内転出）	266	201	35	40	1	3	-	44	36	7	10	25	65
計	703	566	217	144	13	15	3	67	36	6	12	56	137

※「県内移動」……（県内転入＋県内転出）×1/2 端数は四捨五入

(人) 図23 原因者の移動理由別移動者数【県北地域】



ア 県外転入

県外転入で最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入では、総数 250 人のうち、「原因者」が 212 人（84.8%）で、「同伴者」は 38 人（15.2%）であった。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 55.7%、「転勤」が 18.4%、「結婚・離婚・縁組」が 8.0%、「就学」及び「退職・廃業」がそれぞれ 2.8%などとなっている。（表 4，図 25）

イ 県外転出

県外転出で最も多い理由は「転勤」

県外転出では、総数 218 人のうち、「原因者」が 180 人（82.6%）で、「同伴者」は 38 人（17.4%）であった。

原因者について理由別にみると、「転勤」が 40.6%、「就職・転職・転業」が 37.8%、「結婚・離婚・縁組」が 5.6%、「就学」が 3.9%などとなっている。（表 4，図 26）

ウ 県内移動

県内移動で最も多い理由は「結婚・離婚・縁組」

県内移動では、総数 235 人のうち、「原因者」が 174 人（74.0%）で、「同伴者」は 61 人（26.0%）であった。

原因者について理由別にみると、「結婚・離婚・縁組」が 22.7%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 19.0%、「転勤」が 18.1%、「就職・転職・転業」が 17.5%、「生活の利便性」が 3.4%などとなっている。（表 4，図 27）

図 24 移動理由割合 県北地域（総数）

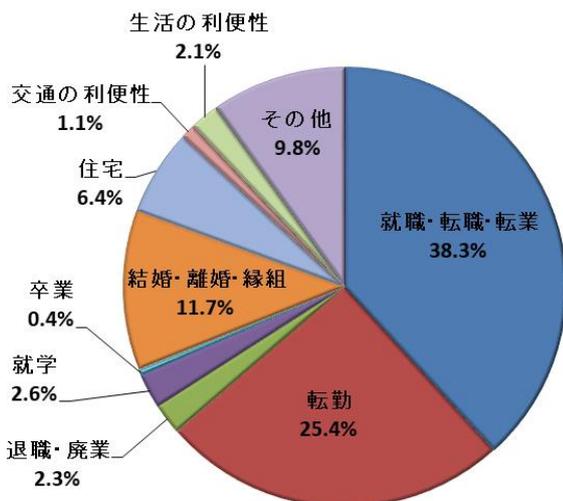


図 25 移動理由割合 県北地域（県外転入）

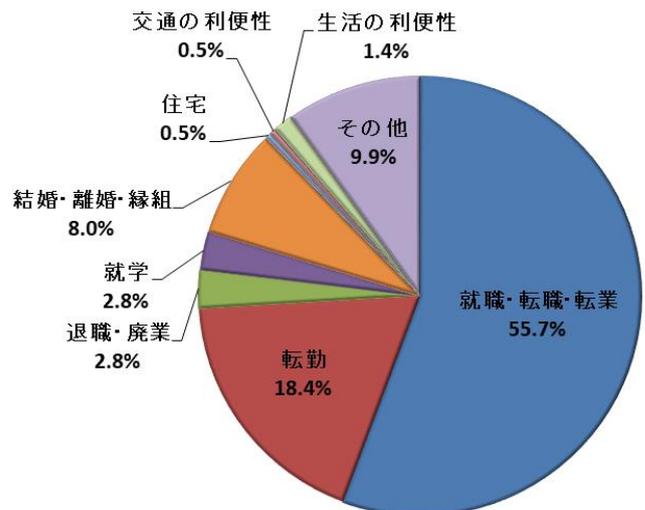


図 26 移動理由割合 県北地域（県外転出）

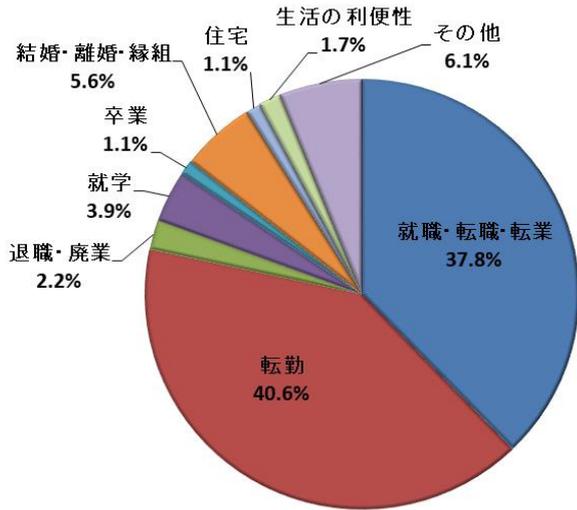
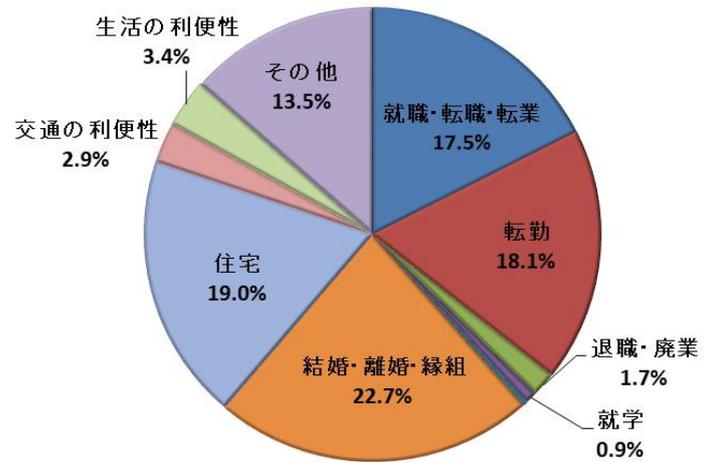


図 27 移動理由割合 県北地域（県内移動）



(2) 年齢(10歳階級)・移動理由別移動者数

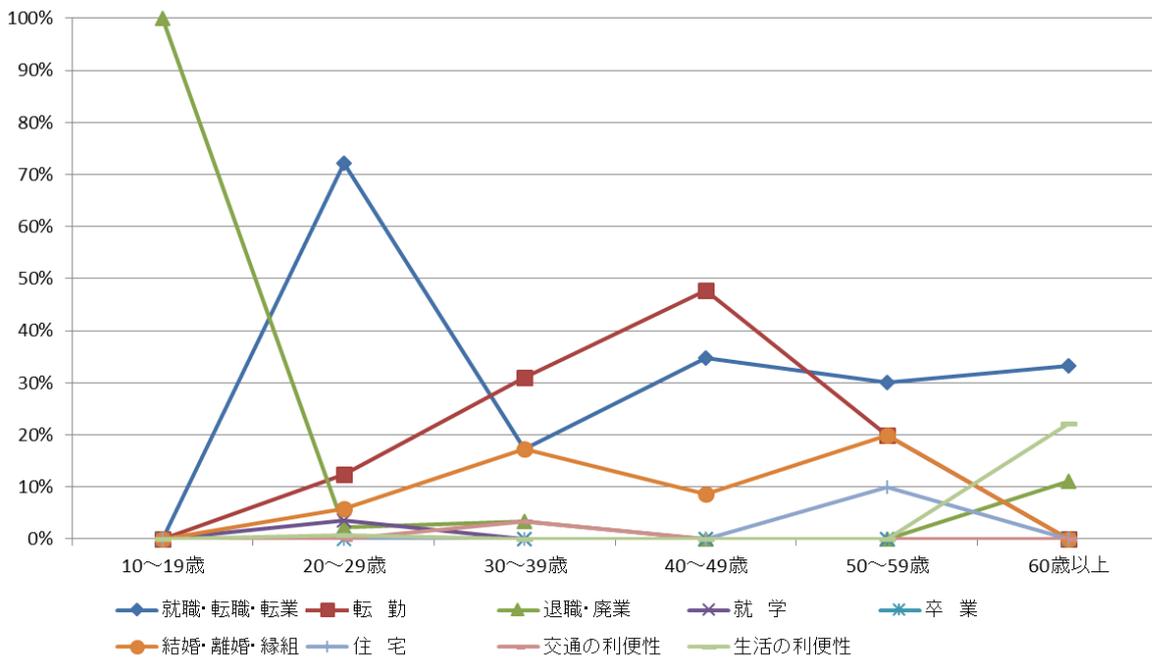
ア 県外転入

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」では「退職・廃業」で100%となっている。

20歳から29歳、50歳から60歳以上の各年齢階級では「就職・転職・転業」の割合が最も高く、「20～29歳」は72.3%、「50～59歳」は30.0%、60歳以上は33.3%となっている。

30歳から49歳以上の各年齢階級では「転勤」の割合が最も高く、「30～39歳」は31.0%、「40～49歳」は47.8%となっている。(図28)

図 28 県外転入者の年齢階級別移動理由割合【県北地域】(10歳以上原因者)

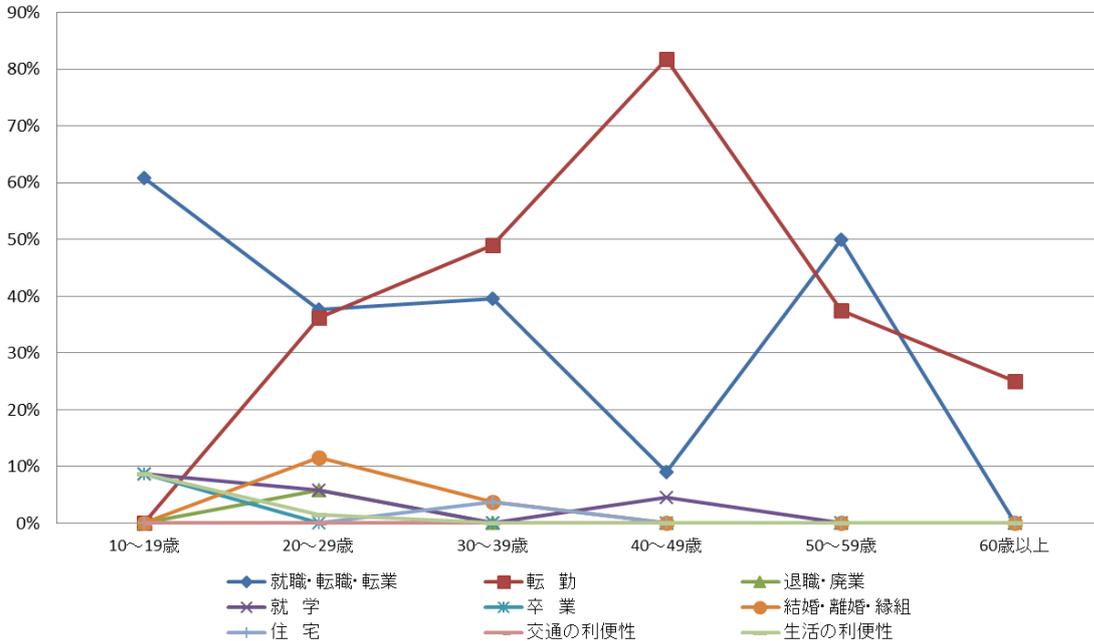


イ 県外転出

最も高い移動理由割合をみると、10歳から29歳、50歳から59歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「10～19歳」は60.9%、「20～29歳」では37.7%、「50～59歳」は50.0%となっている。

30歳から49歳、60歳以上の各年齢階級では「転勤」の割合が最も高く、「30～39歳」は49.1%、「40～49歳」は81.8%、60歳以上では25.0%となっている。（図29）

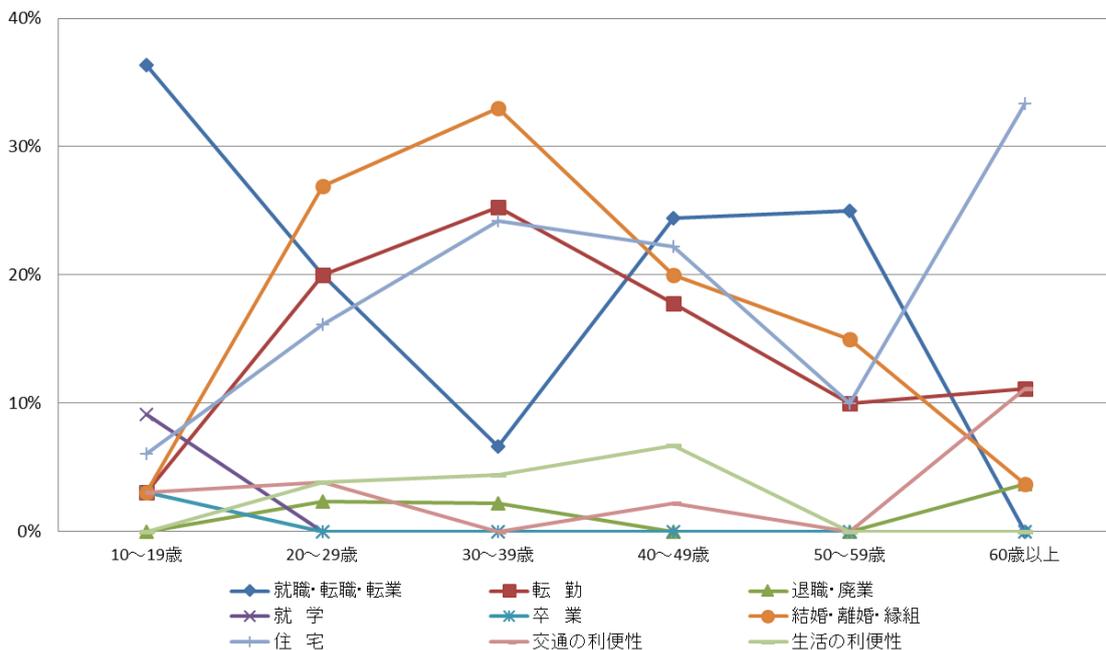
図29 県外転出者の年齢階級別移動理由割合【県北地域】（10歳以上原因者）



ウ 県内移動

最も高い移動理由割合をみると、10歳から19歳、40歳から59歳以上の各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「10～19歳」は36.4%、「40～49歳」は24.4%、「50～59歳」は25.0%となっている。20歳から39歳の各年齢階級では「結婚・離婚・縁組」の割合が最も高く、「20～29歳」は26.9%、「30～39歳」は33.0%となっている。60歳以上では「住宅（新築・購入・借り換え）」で33.3%となっている。（図30）

図30 県内移動者の年齢階級別移動理由割合【県北地域】（10歳以上原因者）



○県央地域

(1) 移動理由別移動者数

最も多い理由は「転勤」

県外転入、県外転出及び県内移動を合わせた 428 人のうち、「原因者」は 342 人（79.8%）、「同伴者」は 87 人（20.2%）となっている。

原因者について理由別にみると、「転勤」が 30.0%、「就職・転職・転業」が 23.7%、「結婚・離婚・縁組」が 15.8%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 9.1%、「生活の利便性」が 4.4%、「就学」が 2.8%、「退職・廃業」が 2.5%、「交通の利便性」が 1.2%、「卒業」が 0.3%となっている。

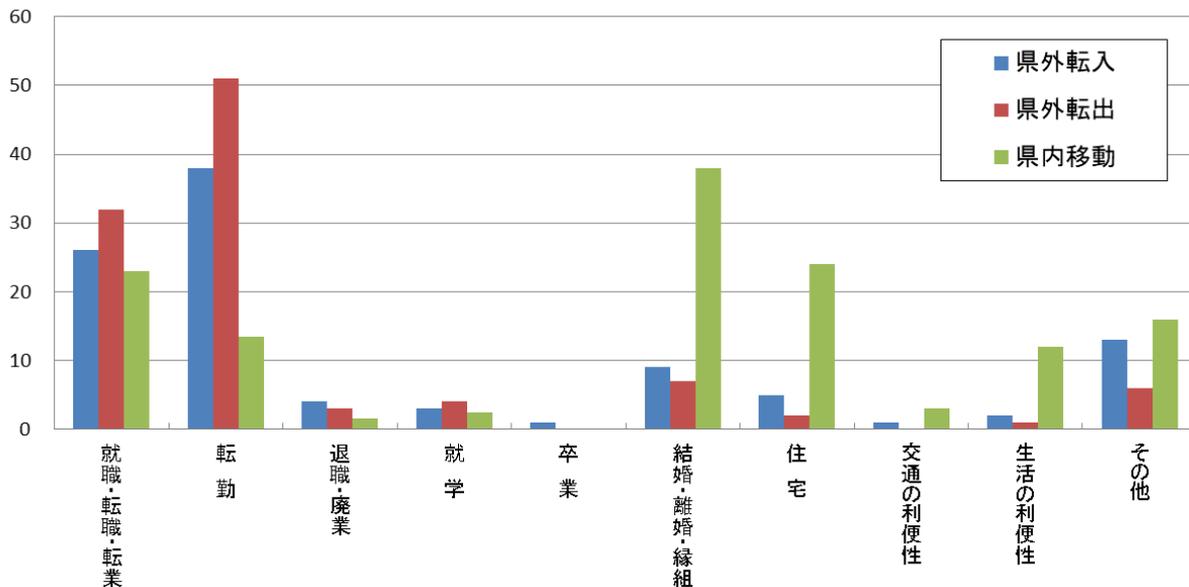
なお、「その他」は 10.2%となっている。（表 5、図 31・32）

表 5 移動理由別移動者数【県央地域】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
県外転入	114	102	26	38	4	3	1	9	5	1	2	13	12
（うち国内）	107	96	25	37	4	2	1	9	5	1	2	10	11
（うち国外）	7	6	1	1	-	1	-	-	-	-	-	3	1
県外転出	124	106	32	51	3	4	-	7	2	-	1	6	18
（うち国内）	122	104	32	50	3	3	-	7	2	-	1	6	18
（うち国外）	2	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
県内移動	190	134	23	14	2	3	-	38	24	3	12	16	57
（県内転入）	214	145	26	18	-	3	-	37	26	5	15	15	69
（県内転出）	166	122	20	9	3	2	-	39	22	1	9	17	44
計	428	342	81	103	9	10	1	54	31	4	15	35	87

※「県内移動」……（県内転入＋県内転出）× 1 / 2 端数は四捨五入

(人) 図 31 原因者の移動理由別移動者数【県央地域】



ア 県外転入

県外転入で最も多い理由は「転勤」

県外転入では、総数 114 人のうち、「原因者」が 102 人（89.5%）で、「同伴者」は 12 人（10.5%）であった。

原因者について理由別にみると、「転勤」が 37.3%、「就職・転職・転業」が 25.5%、「結婚・離婚・縁組」が 8.8%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 4.9%、「退職・廃業」が 3.9%などとなっている。（表 5、図 33）

イ 県外転出

県外転出で最も多い理由は「転勤」

県外転出では、総数 124 人のうち、「原因者」が 106 人（85.5%）で、「同伴者」18 人（14.5%）であった。

原因者について理由別にみると、「転勤」が 48.1%、「就職・転職・転業」が 30.2%、「結婚・離婚・縁組」が 6.6%、「就学」が 3.8%、「退職・廃業」が 2.8%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 1.9%などとなっている。（表 5、図 34）

ウ 県内移動

県内移動で最も多い理由は「結婚・離婚・縁組」

県内移動では、総数 190 人のうち、「原因者」が 134 人（70.3%）で、「同伴者」は 57 人（29.7%）であった。

原因者について理由別にみると、「結婚・離婚・縁組」が 28.5%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 18.0%、「就職・転職・転業」が 17.2%、「転勤」が 10.1%、「生活の利便性」が 9.0%、「交通の利便性」が 2.2%などとなっている。（表 5、図 35）

図 32 移動理由割合 県央地域（総数）

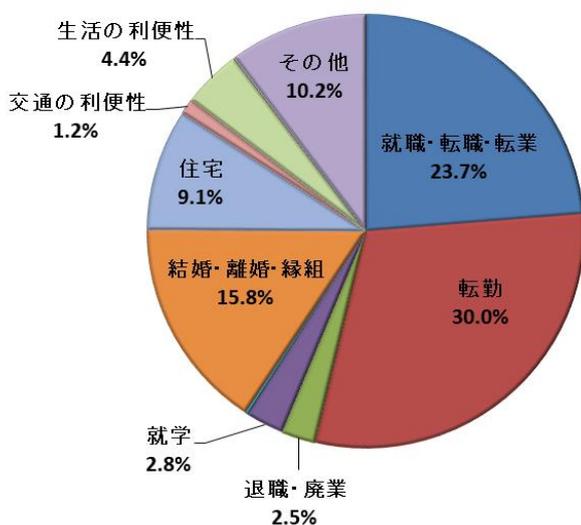


図 33 移動理由割合 県央地域（県外転入）

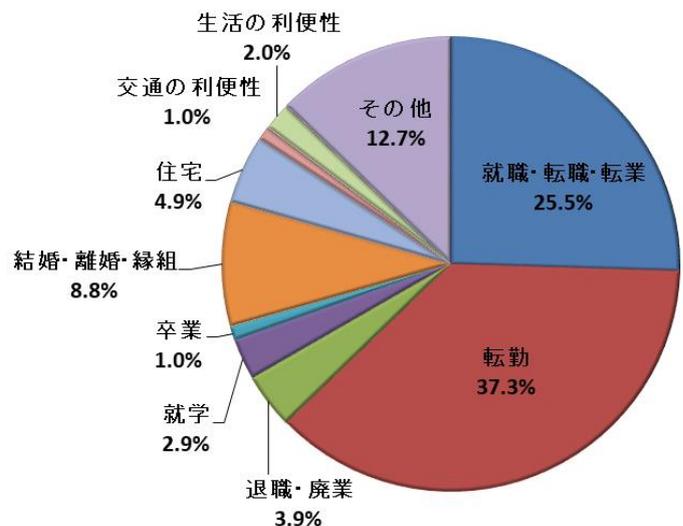


図 34 移動理由割合 県央地域（県外転出）

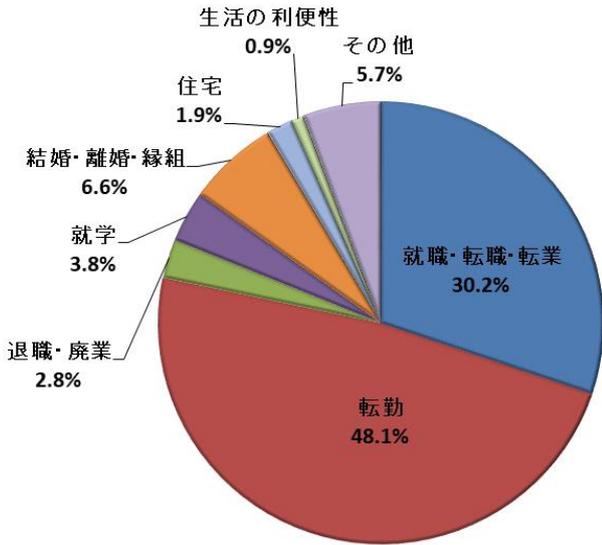
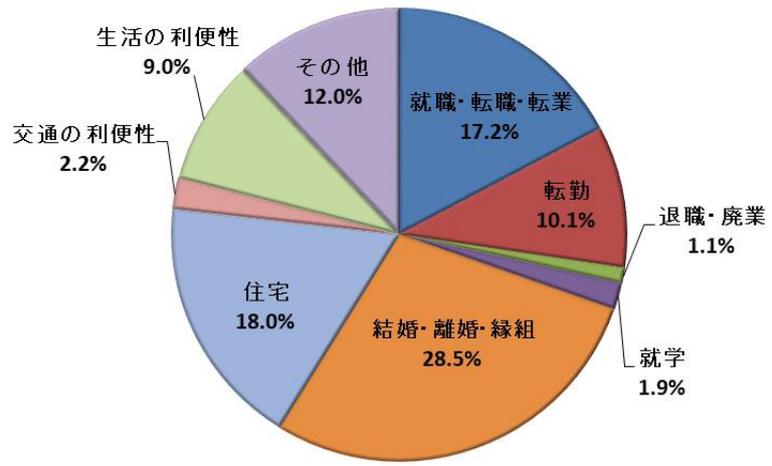


図 35 移動理由割合 県央地域（県内移動）



(2) 年齢(10歳階級)・移動理由別移動者数

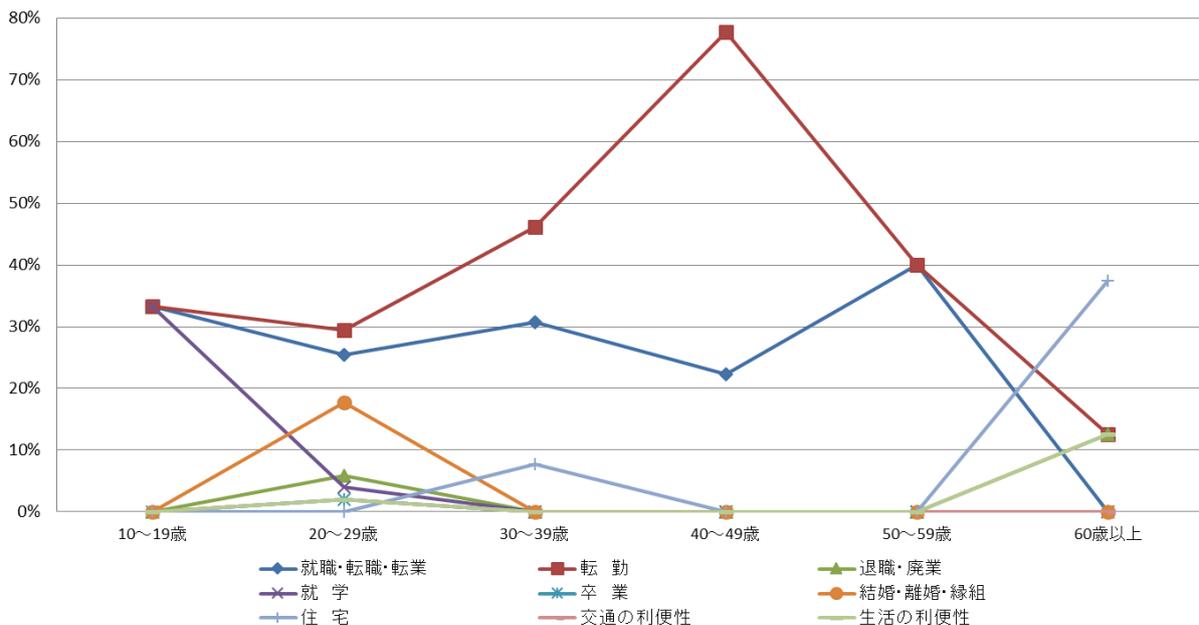
ア 県外転入

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」では「就職、転職、転業」、「転勤」、「就学」でそれぞれ33.3%となっている。

20歳から49歳の各年齢階級では「転勤」の割合が最も高く、「20～29歳」は29.4%、「30～39歳」は46.2%、「40～49歳」は77.8%となっている。「50～59歳」では「就職、転職、転業」、「転勤」でそれぞれ40.0%となっている。

60歳以上では「住宅（新築・購入・借り換え）」で37.5%となっている。（図36）

図 36 県外転入者の年齢階級別移動理由割合【県央地域】（10歳以上原因者）



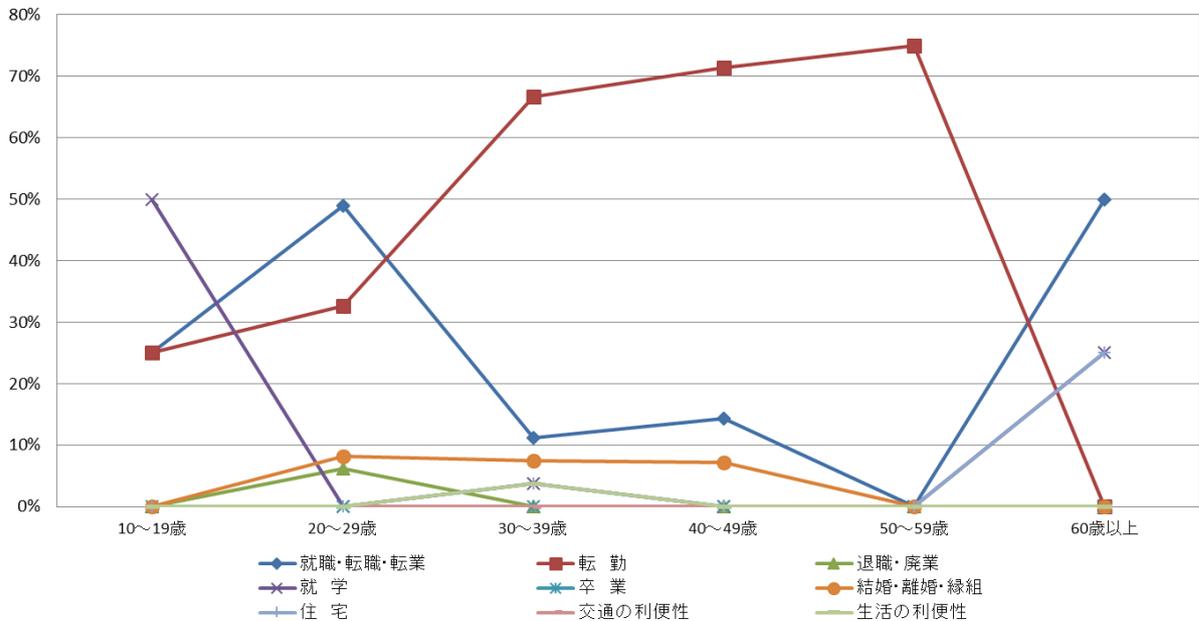
イ 県外転出

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」では「就学」で50.0%となっている。

30歳から59歳の各年齢階級では「転勤」の割合が最も高く、「30～39歳」では66.7%、「40～49歳」では71.4%と「50～59歳」は75.0%となっている。

20歳から29歳、60歳以上の各年齢階級では「就職・転職・転業」の割合が最も高く、「20～29歳」では49.0%、60歳以上では50.0%となっている。(図37)

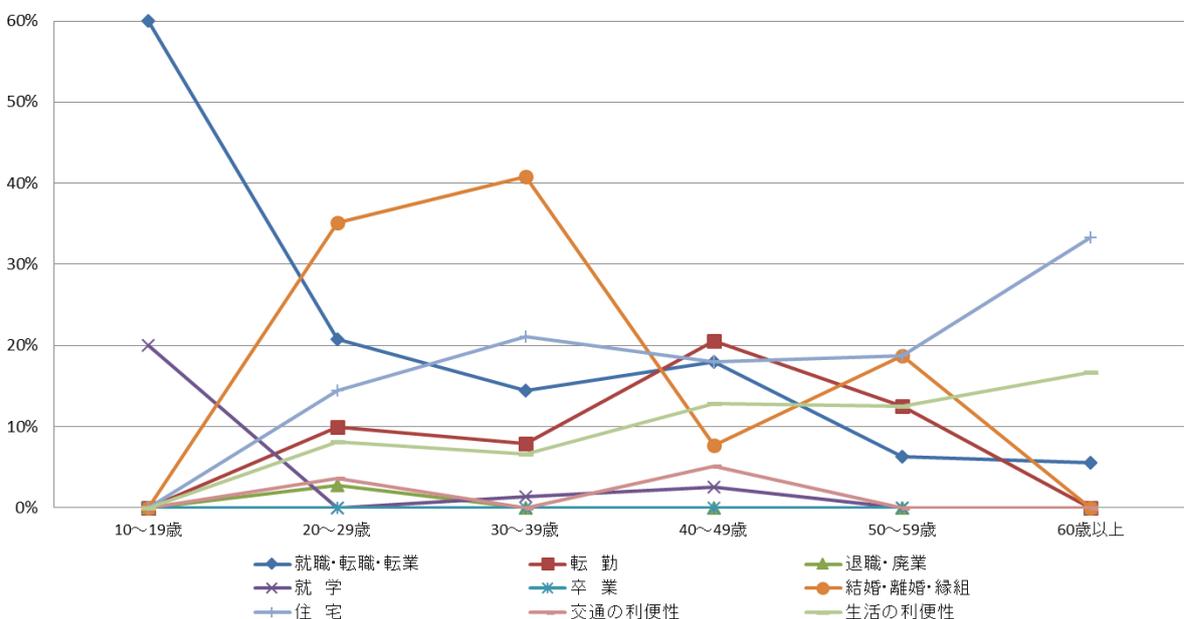
図37 県外転出者の年齢階級別移動理由割合【県央地域】(10歳以上原因者)



ウ 県内移動

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」では「就職・転職・転業」で60.0%となっている。20歳から39歳の各年齢階級では「結婚・離婚・縁組」の割合が最も高く、「20～29歳」は35.1%、「30～39歳」は40.8%となっている。「40～49歳」では「転勤」で20.5%となっている。「50～59歳」では「結婚・離婚・縁組」,「住宅(新築・購入・借り換え)」でそれぞれ18.8%となっている。60歳以上では「住宅(新築・購入・借り換え)」で33.3%となっている。(図38)

図38 県内移動者の年齢階級別移動理由割合【県央地域】(10歳以上原因者)



○鹿行地域

(1) 移動理由別移動者数

最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入、県外転出及び県内移動を合わせた 422 人のうち、「原因者」は 342 人（81.0%）、「同伴者」は 80 人（19.0%）となっている。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 34.5%、「転勤」が 24.6%、「結婚・離婚・縁組」が 15.5%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 5.8%、「生活の利便性」が 2.8%、「退職・廃業」が 2.6%、「交通の利便性」が 1.6%、「就学」が 0.7%となっている。なお、「その他」は 11.8%となっている。（表 6，図 39・40）

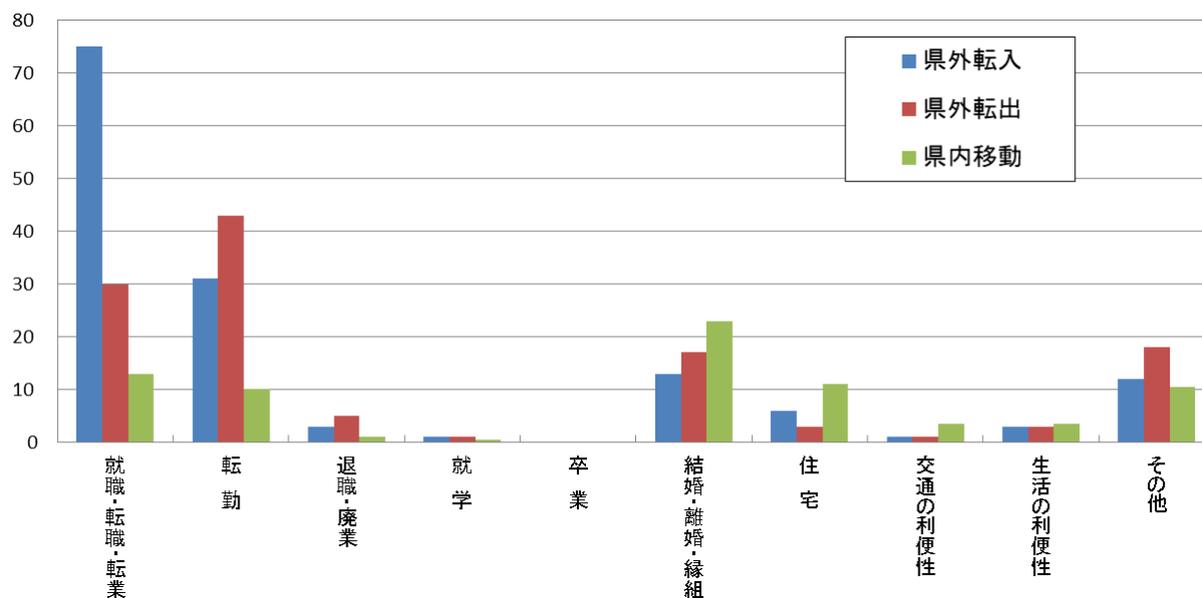
表 6 移動理由別移動者数【鹿行地域】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
県外転入	169	145	75	31	3	1	-	13	6	1	3	12	24
（うち国内）	126	102	41	31	3	-	-	13	6	1	3	4	24
（うち国外）	43	43	34	-	-	1	-	-	-	-	-	8	-
県外転出	147	121	30	43	5	1	-	17	3	1	3	18	26
（うち国内）	142	116	29	39	5	1	-	17	3	1	3	18	26
（うち国外）	5	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県内移動	106	76	13	10	1	1	-	23	11	4	4	11	30
（県内転入）	116	82	13	15	1	1	-	28	9	4	3	8	34
（県内転出）	96	70	13	5	1	-	-	18	13	3	4	13	26
計	422	342	118	84	9	3	-	53	20	6	10	41	80

※「県内移動」……（県内転入＋県内転出）×1/2 端数は四捨五入

図 39 原因者の移動理由別移動者数【鹿行地域】

(人)



ア 県外転入

県外転入で最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入では、総数 169 人のうち、「原因者」が 145 人（85.8%）で、「同伴者」は 24 人（14.2%）であった。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 51.7%、「転勤」が 21.4%、「結婚・離婚・縁組」が 9.0%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 4.1%などとなっている。（表 6，図 41）

イ 県外転出

県外転出で最も多い理由は「転勤」

県外転出では、総数 147 人のうち、「原因者」が 121 人（82.3%）で、「同伴者」26 人（17.7%）であった。

原因者について理由別にみると、「転勤」が 35.5%、「就職・転職・転業」が 24.8%、「結婚・離婚・縁組」が 14.0%、「退職・廃業」が 4.1%、「住宅（新築・購入・借り換え）」及び「生活の利便性」それぞれが 2.5%などとなっている。（表 6，図 42）

ウ 県内移動

県内移動で最も多い理由は「結婚・離婚・縁組」

県内移動では、総数 106 人のうち、「原因者」が 76 人（71.7%）で、「同伴者」は 30 人（28.3%）であった。

原因者について理由別にみると、「結婚・離婚・縁組」が 30.3%、「就職・転職・転業」が 17.1%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 14.5%、「転勤」が 13.2%などとなっている。（表 6，図 43）

図 40 移動理由割合 鹿行地域（総数）

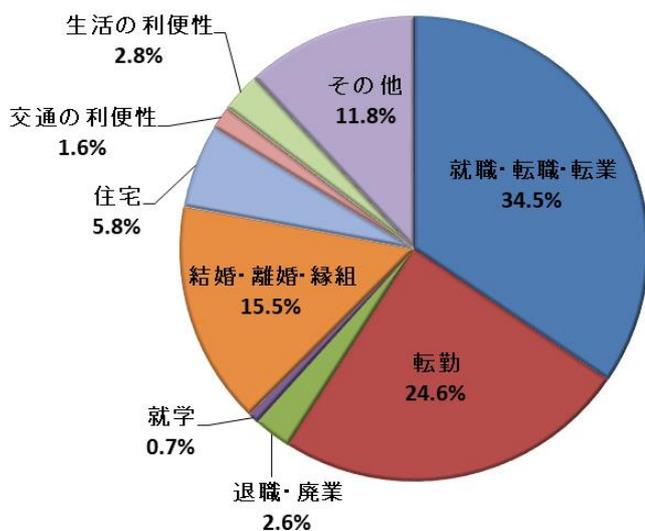


図 41 移動理由割合 鹿行地域（県外転入）

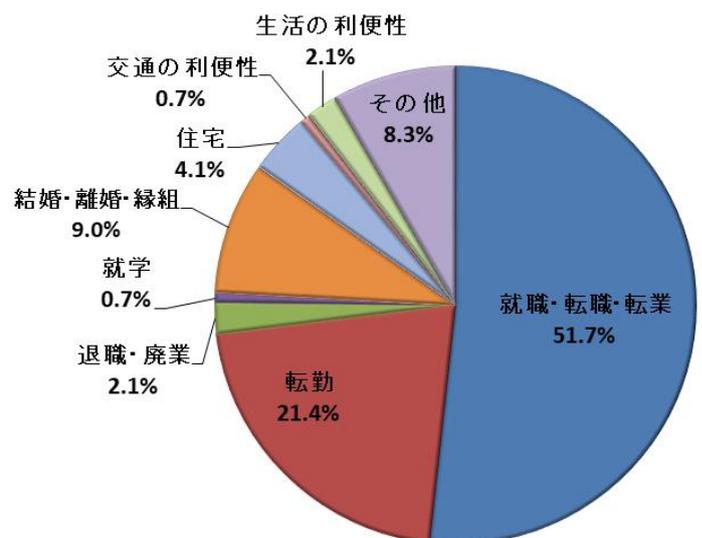


図 42 移動理由割合 鹿行地域（県外転出）

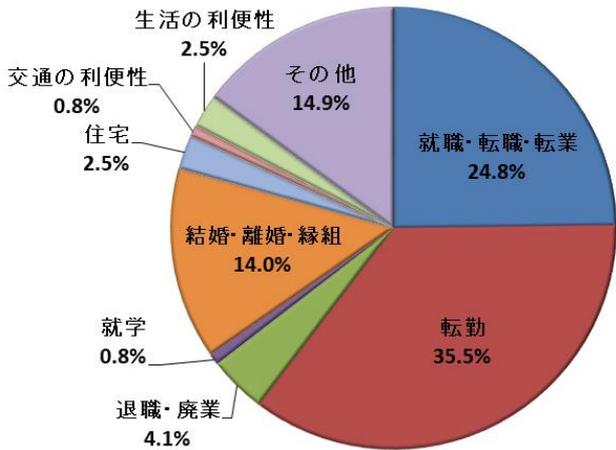
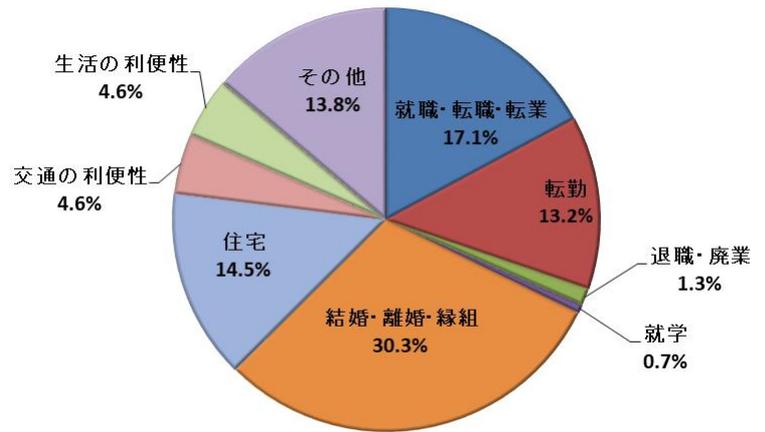


図 43 移動理由割合 鹿行地域（県内移動）

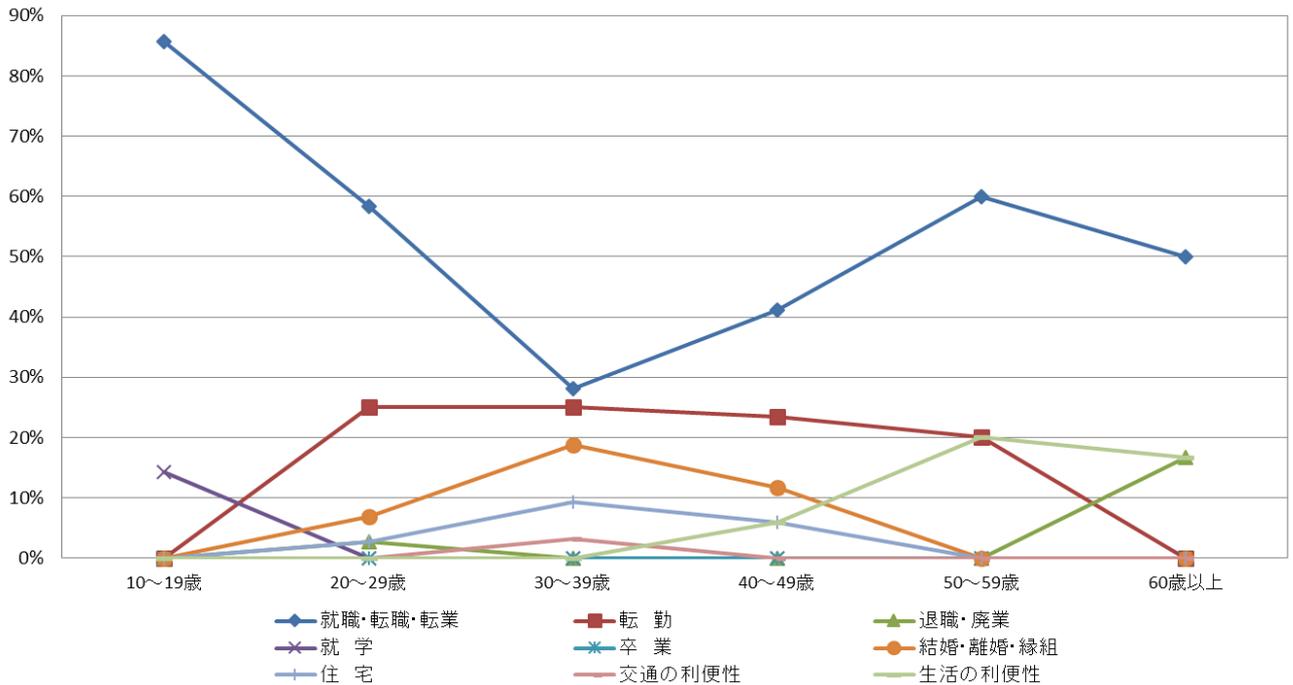


(2) 年齢(10歳階級)・移動理由別移動者数

ア 県外転入

最も高い移動理由割合をみると、10歳から60歳以上の全ての年齢階級で「就職、転職、転業」となっている。「10歳～19歳」で85.7%、「20～29歳」で58.3%、「30～39歳」で28.1%、「40～49歳」で41.2%、「50～59歳」で60.0%、60歳以上では50.0%となっている。(図44)

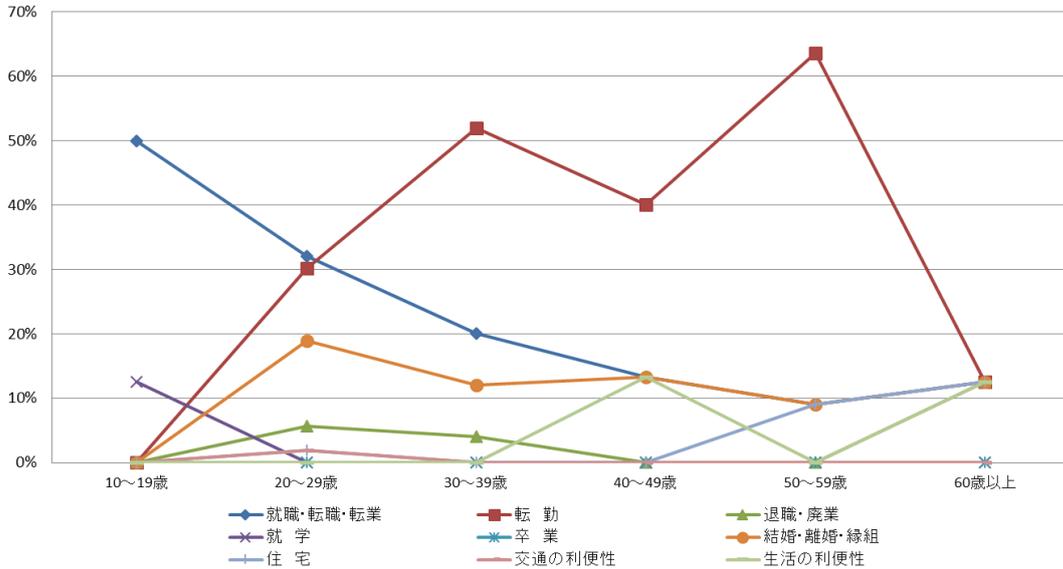
図 44 県外転入者の年齢階級別移動理由割合【鹿行地域】(10歳以上原因者)



イ 県外転出

最も高い移動理由割合をみると、10歳から29歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」の割合が最も高く、「10～19歳」は50.0%、「20～29歳」は32.1%となっている。30歳から59歳の各年齢階級では「転勤」の割合が最も高く、「30～39歳」は52.0%、「40～49歳」は40.0%、「50～59歳」は63.6%となっている。60歳以上では「就職・転職・転業」、「転勤」、「退職・廃業」、「結婚・離婚・縁組」、「住宅（新築・購入・借り換え）」、「生活の利便性」でそれぞれ12.5%となっている。（図45）

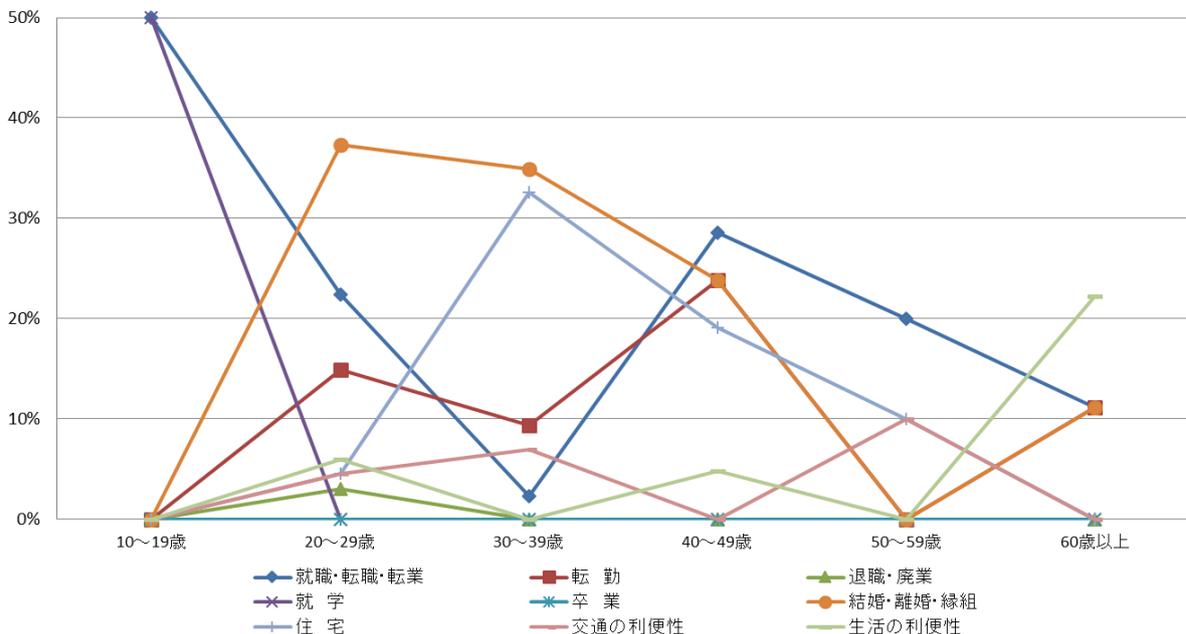
図45 県外転出者の年齢階級別移動理由割合【鹿行地域】（10歳以上原因者）



ウ 県内移動

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」は「就職・転職・転業」と「就学」の割合でそれぞれ50.0%となっている。20歳から39歳の各年齢階級では「結婚・離婚・縁組」の割合が最も高く、「20～29歳」は37.3%、「30～39歳」は34.9%となっている。40歳から59歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」で「40～49歳」は28.6%、「50～59歳」は20.0%となっている。60歳以上は「生活の利便性」で22.2%となっている。（図46）

図46 県内移動者の年齢階級別移動理由割合【鹿行地域】（10歳以上原因者）



○県南地域

(1) 移動理由別移動者数

最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入、県外転出及び県内移動を合わせた 1,358 人のうち、「原因者」は 1,030 人（75.9%）、「同伴者」は 328 人（24.1%）となっている。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 22.2%、「転勤」が 18.9%、「結婚・離婚・縁組」が 14.1%、「就学」が 12.4%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 9.7%、「生活の利便性」が 6.0%、「退職・廃業」が 2.5%、「交通の利便性」が 2.4%、「卒業」が 0.9%となっている。

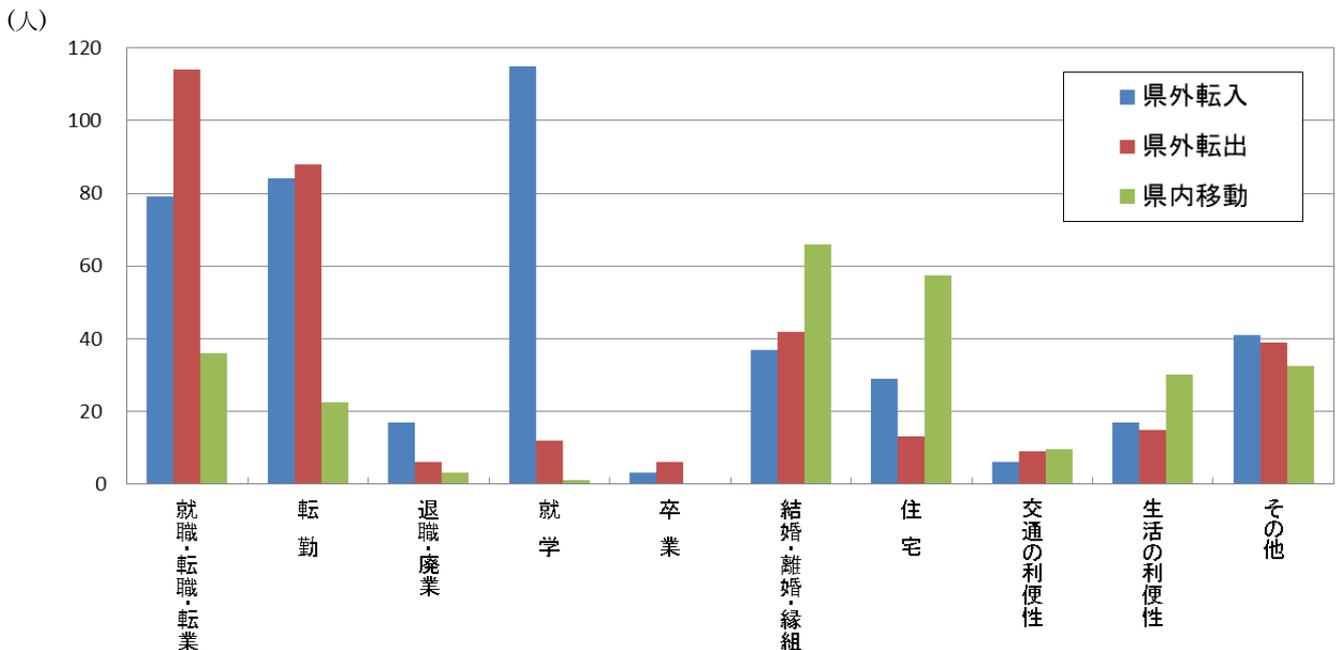
なお、「その他」は 10.9%となっている。（表 7、図 47・48）

表 7 移動理由別移動者数【県南地域】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
県外転入	534	428	79	84	17	115	3	37	29	6	17	41	106
（うち国内）	390	291	71	75	17	11	-	37	29	5	14	32	99
（うち国外）	144	137	8	9	-	104	3	-	-	1	3	9	7
県外転出	437	344	114	88	6	12	6	42	13	9	15	39	93
（うち国内）	385	306	111	79	6	9	-	40	13	9	15	24	79
（うち国外）	52	38	3	9	-	3	6	2	-	-	-	15	14
県内移動	387	258	36	23	3	1	-	66	58	10	30	33	129
（県内転入）	393	254	45	19	3	2	-	61	52	11	29	32	139
（県内転出）	380	262	27	26	3	-	-	71	63	8	31	33	118
計	1,358	1,030	229	195	26	128	9	145	100	25	62	113	328

※「県内移動」……（県内転入＋県内転出）× 1 / 2 端数は四捨五入

図 47 原因者の移動理由別移動者数【県南地域】



ア 県外転入

県外転入で最も多い理由は「就学」

県外転入では、総数 534 人のうち、「原因者」が 428 人（80.1%）で、「同伴者」は 106 人（19.9%）であった。

原因者について理由別にみると、「就学」が 26.9%、「転勤」が 19.6%、「就職・転職・転業」が 18.5%、「結婚・離婚・縁組」が 8.6%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 6.8%、「退職・廃業」及び「生活の利便性」が 4.0%などとなっている。（表 7，図 49）

イ 県外転出

県外転出で最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転出では、総数 437 人のうち、「原因者」が 344 人（78.7%）で、「同伴者」は 93 人（21.3%）であった。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 33.1%、「転勤」が 25.6%、「結婚・離婚・縁組」が 12.2%、「生活の利便性」が 4.4%「住宅（新築・購入・借り換え）」が 3.8%、「就学」が 3.5%などとなっている。（表 7，図 50）

ウ 県内移動

県内移動で最も多い理由は「結婚・離婚・縁組」

県内移動では、総数 387 人のうち、「原因者」が 258 人（66.8%）で、「同伴者」は 129 人（33.2%）であった。

原因者について理由別にみると、「結婚・離婚・縁組」が 25.6%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 22.3%、「就職・転職・転業」が 14.0%、「生活の利便性」が 11.6%、「転勤」が 8.7%、「交通の利便性」が 3.7%などとなっている。（表 7，図 51）

図 48 移動理由割合 県南地域（総数）

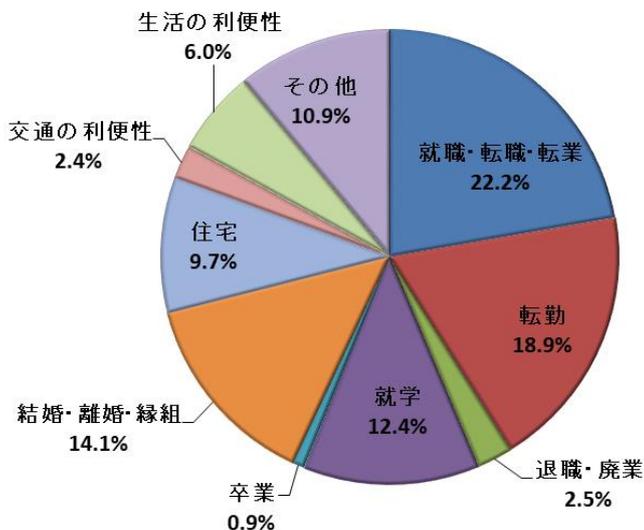


図 49 移動理由割合 県南地域（県外転入）

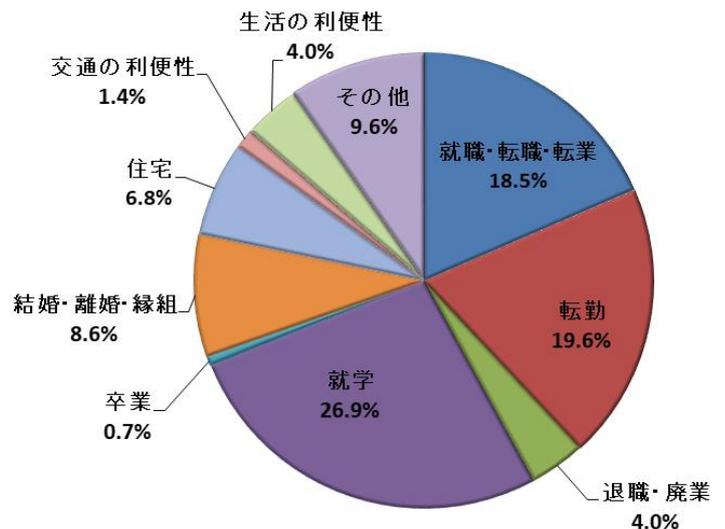


図 50 移動理由割合 県南地域（県外転出）

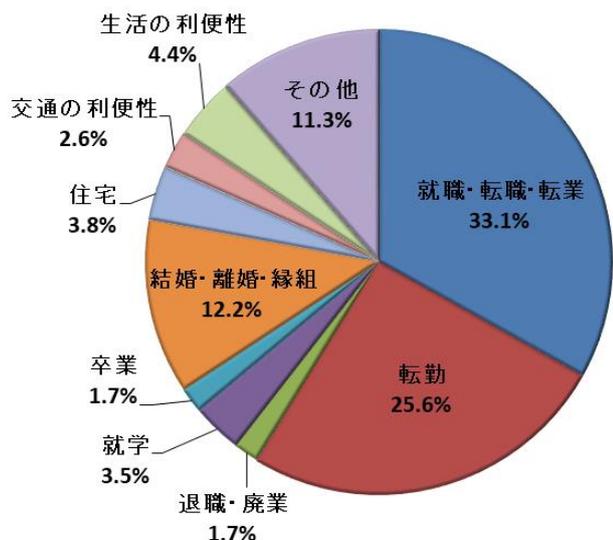
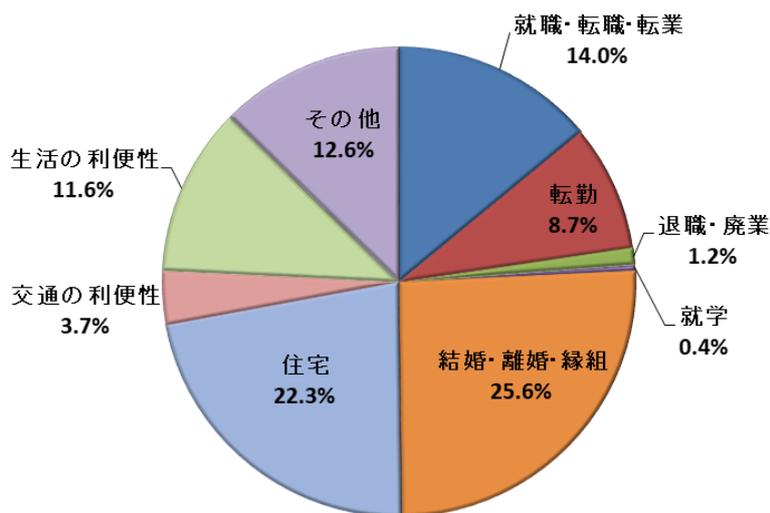


図 51 移動理由割合 県南地域（県内移動）

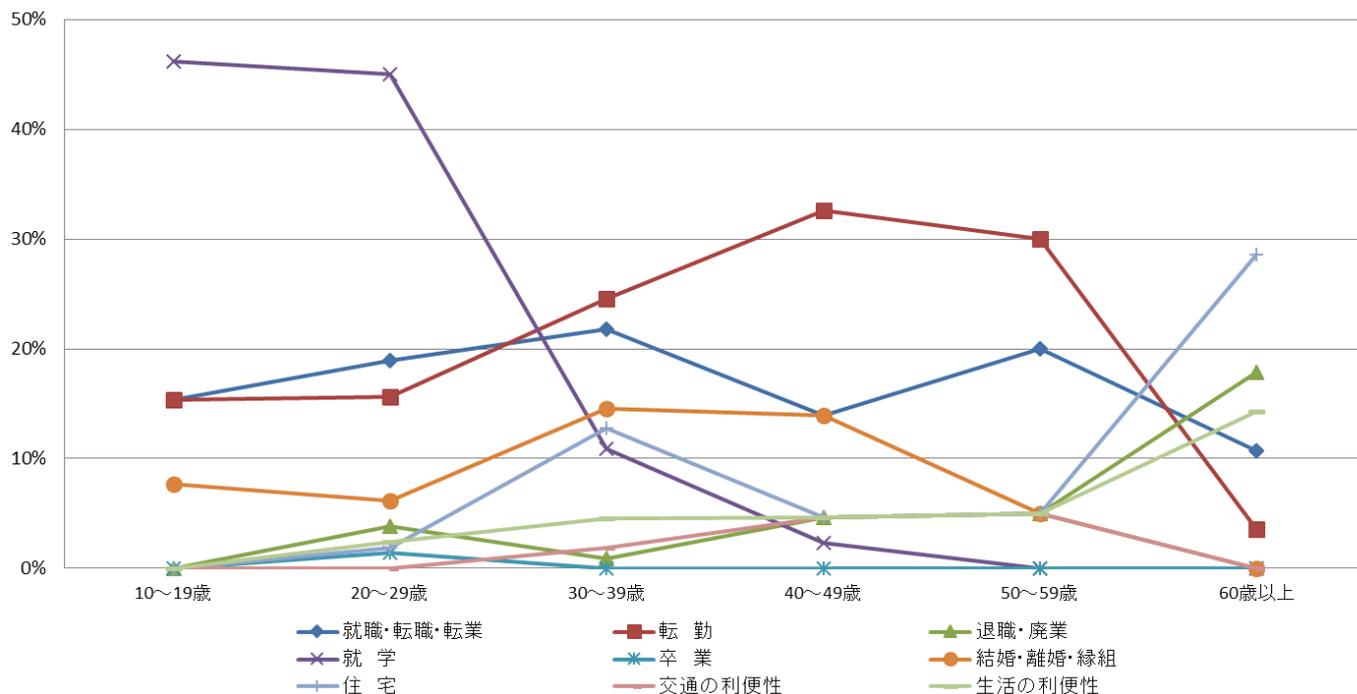


(2) 年齢(10歳階級)・移動理由別移動者数

ア 県外転入

最も高い移動理由割合をみると、10歳から29歳の各年齢階級では「就学」で、「10～19歳」は46.2%、「20～29歳」は45.0%となっている。30歳から59歳の各年齢階級では「転勤」の割合が高く、「30～39歳」は24.5%、「40～49歳」は32.6%、「50～59歳」は30.0%となっている。60歳以上では「住宅（新築・購入・借り換え）」で28.6%となっている。（図52）

図 52 県外転入者の年齢階級別移動理由割合【県南地域】（10歳以上原因者）



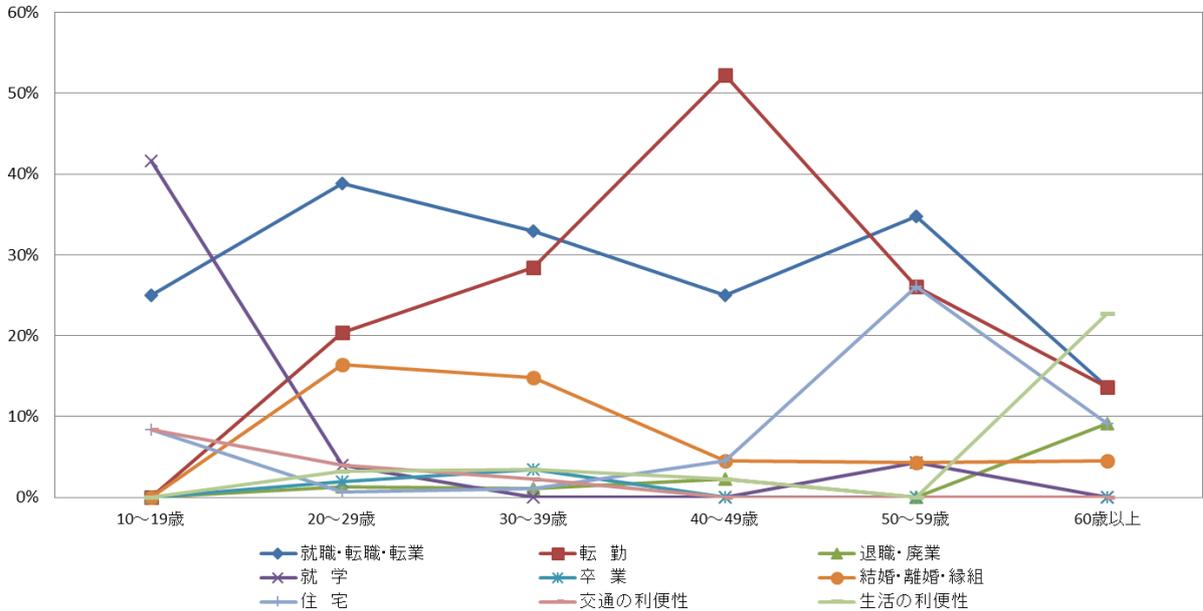
イ 県外転出

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」は「就学」で41.7%となっている。

20歳から39歳、50歳から59歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」の割合が最も高く、「20～29歳」は38.8%、「30～39歳」は33.0%、「50～59歳」は34.8%となっている。

「40～49歳」は「転勤」で52.3%となっている。60歳以上では「生活の利便性」で22.7%となっている。（図53）

図53 県外転出者の年齢階級別移動理由割合【県南地域】（10歳以上原因者）



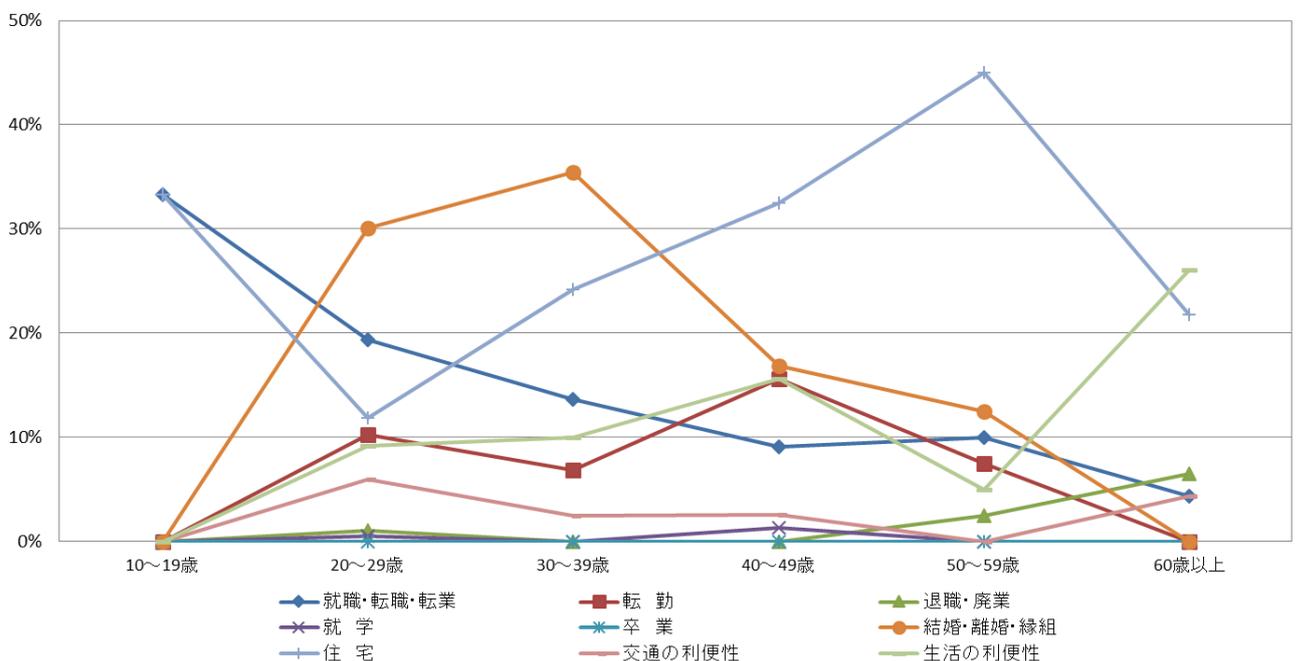
ウ 県内移動

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」では「就職・転職・転業」と「住宅（新築・購入・借り換え）」でそれぞれ33.3%となっている。

20歳から39歳の各年齢階級では「結婚・離婚・縁組」で、「20～29歳」は30.1%、「30～39歳」は35.4%となっている。

40歳から59歳の各年齢階級では「住宅（新築・購入・借り換え）」で、「40～49歳」は32.5%、「50～59歳」は45.0%、「60歳以上」では「生活の利便性」で26.1%となっている。（図54）

図54 県内移動者の年齢階級別移動理由割合【県南地域】（10歳以上原因者）



○県西地域

(1) 移動理由別移動者数

最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転入、県外転出及び県内移動を合わせた 1,228 人のうち、「原因者」は 1,050 人 (85.5%)、「同伴者」は 178 人 (14.5%) となっている。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 39.9%、「就学」が 14.4%、「結婚・離婚・縁組」が 12.9%、「転勤」が 11.6%、「生活の利便性」が 4.6%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 4.1%、「退職・廃業」が 2.1%、「交通の利便性」が 1.6%となっている。

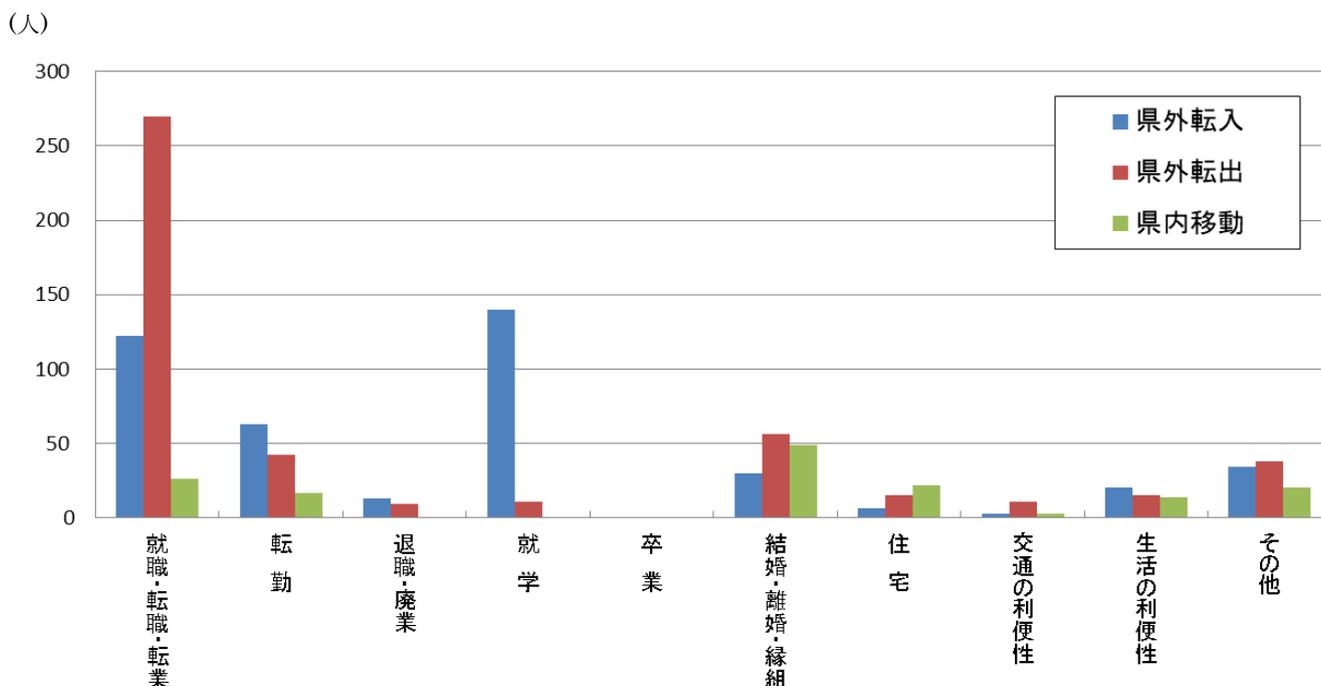
なお、「その他」は 8.8%となっている。(表 8, 図 55・56)

表 8 移動理由別移動者数【県西地域】

区分	総数	原因者											同伴者
		総数	就職・転職・転業	転勤	退職・廃業	就学	卒業	結婚・離婚・縁組	住宅	交通の利便性	生活の利便性	その他	
県外転入	496	431	122	63	13	140	-	30	6	3	20	34	65
(うち国内)	308	250	100	59	12	2	-	25	6	3	18	25	58
(うち国外)	188	181	22	4	1	138	-	5	-	-	2	9	7
県外転出	519	467	270	42	9	11	-	56	15	11	15	38	52
(うち国内)	481	436	261	39	7	10	-	53	15	11	14	26	45
(うち国外)	38	31	9	3	2	1	-	3	-	-	1	12	7
県内移動	213	152	27	17	1	1	-	49	22	3	14	21	61
(県内転入)	191	141	31	16	1	-	-	40	18	4	12	19	50
(県内転出)	234	163	22	17	-	1	-	58	26	2	15	22	71
計	1,228	1,050	419	122	23	152	-	135	43	17	49	93	178

※「県内移動」………(県内転入+県内転出)×1/2 端数は四捨五入

図 55 原因者の移動理由別移動者数【県西地域】



ア 県外転入

県外転入で最も多い理由は「就学」

県外転入では、総数 496 人のうち、「原因者」が 431 人（86.9%）で、「同伴者」は 65 人（13.1%）であった。

原因者について理由別にみると、「就学」が 32.5%、「就職・転職・転業」が 28.3%、「転勤」が 14.6%、「結婚・離婚・縁組」が 7.0%、「生活の利便性」が 4.6%、「退職・廃業」が 3.0%などとなっている。（表 8，図 57）

イ 県外転出

県外転出で最も多い理由は「就職・転職・転業」

県外転出では、総数 519 人のうち、「原因者」が 467 人（90.0%）で、「同伴者」は 52 人（10.0%）であった。

原因者について理由別にみると、「就職・転職・転業」が 57.8%、「結婚・離婚・縁組」が 12.0%、「転勤」が 9.0%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 3.2%、「生活の利便性」が 3.2%、「就学」が 2.4%、「交通の利便性」が 2.4%などとなっている。（表 8，図 58）

ウ 県内移動

県内移動で最も多い理由は「結婚・離婚・縁組」

県内移動では、総数 213 人のうち、「原因者」が 152 人（71.5%）で、「同伴者」は 61 人（28.5%）であった。

原因者について理由別にみると、「結婚・離婚・縁組」が 32.2%、「就職・転職・転業」が 17.4%、「住宅（新築・購入・借り換え）」が 14.5%、「転勤」が 10.9%、「生活の利便性」が 8.9%、「交通の利便性」が 2.0%などとなっている。（表 8，図 59）

図 56 移動理由割合 県西地域（総数）

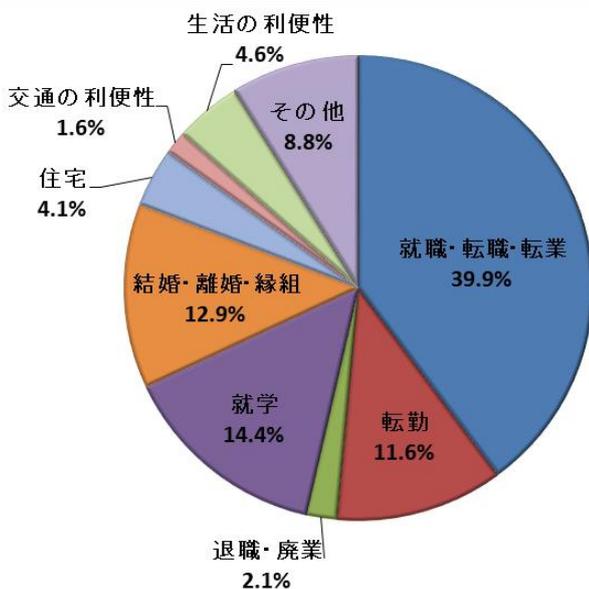


図 57 移動理由割合 県西地域（県外転入）

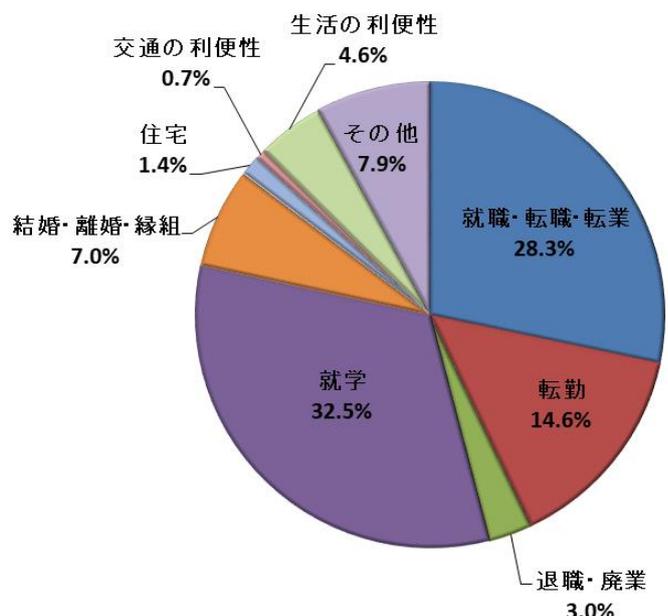


図 58 移動理由割合 県西地域（県外転出）

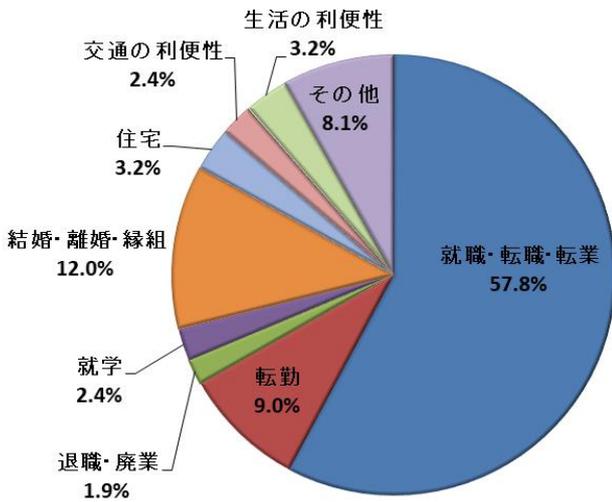
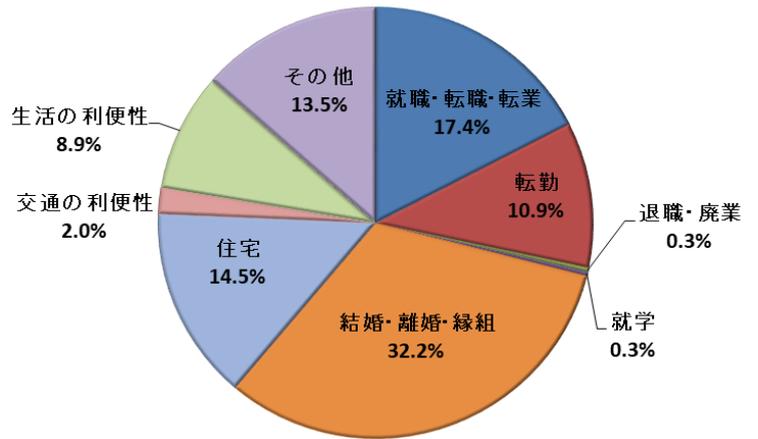


図 59 移動理由割合 県西地域（県内移動）



(2) 年齢(10歳階級)・移動理由別移動者数

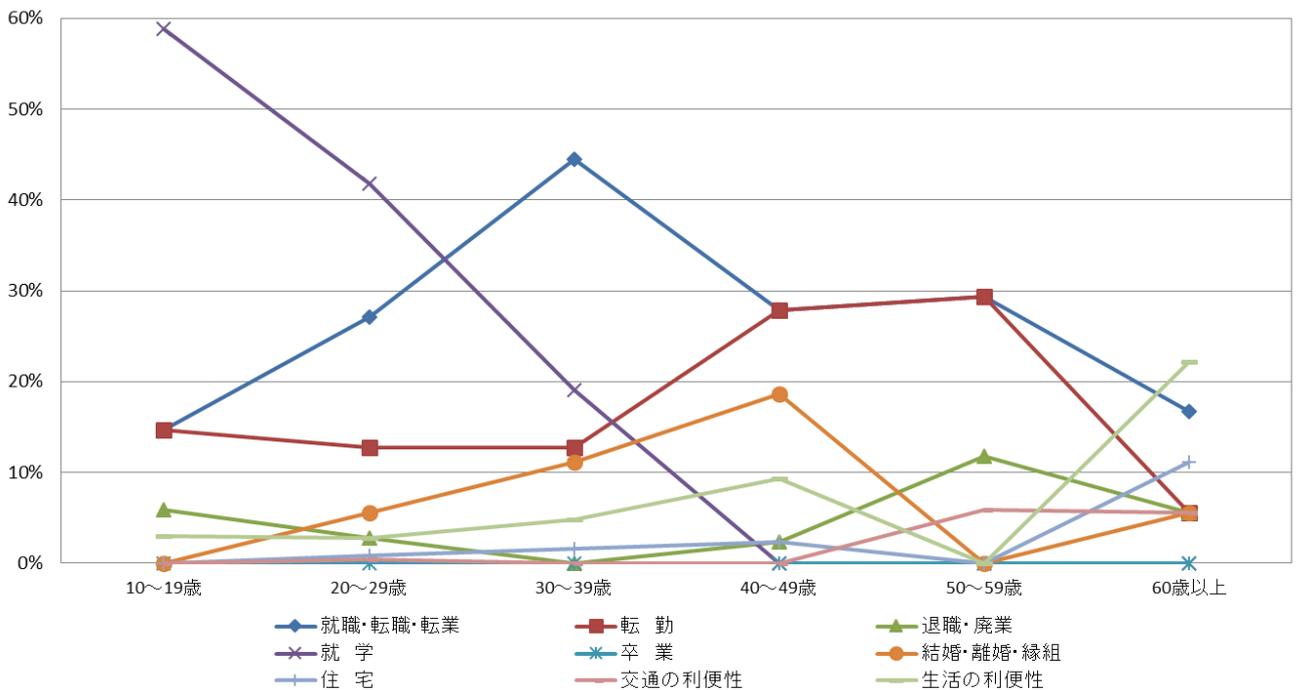
ア 県外転入

最も高い移動理由割合をみると、10歳から29歳の各年齢階級では「就学」の割合が最も高く、「10～19歳」は58.8%、「20～29歳」は41.8%となっている。「30～39歳」では、「就職・転職・転業」で44.4%となっている。

40歳から59歳の各年齢階級では「就職・転職・転業」と「転勤」で、「40～49歳」は27.9%、「50～59歳」は29.4%となっている。

60歳以上では、「生活の利便性」で22.2%となっている。(図 60)

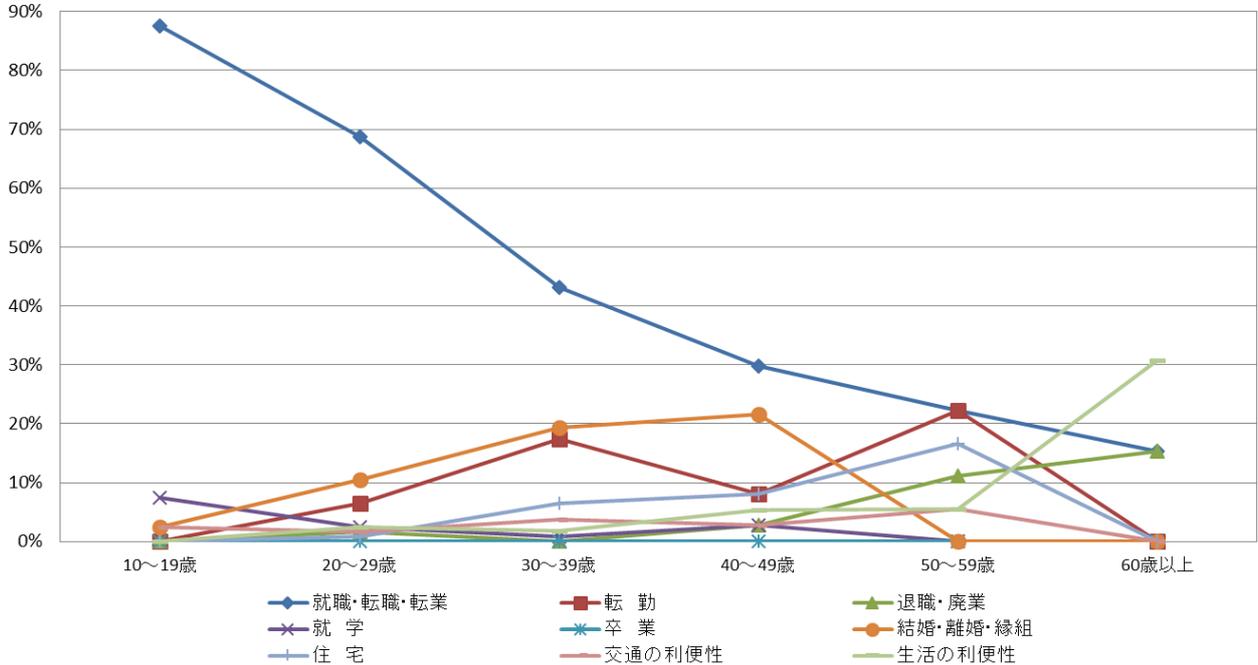
図 60 県外転入者の年齢階級別移動理由割合【県西地域】(10歳以上原因者)



イ 県外転出

最も高い移動理由割合をみると、10歳から49歳各年齢階級では「就職・転職・転業」で、「10～19歳」は87.5%、「20～29歳」は68.7%、「30～39歳」は43.1%、「40～49歳」は29.7%となっている。「50～59歳」では、「就職・転職・転業」と「転勤」でそれぞれ22.2%となっている。60歳以上では、「生活の利便性」で30.8%となっている。(図61)

図61 県外転出者の年齢階級別移動理由割合【県西地域】(10歳以上原因者)



ウ 県内移動

最も高い移動理由割合をみると、「10～19歳」では「就職・転職・転業」の割合が最も高く、66.7%となっている。20歳から49歳の各年齢階級では「結婚・離婚・縁組」で、「20～29歳」は38.1%、「30～39歳」は40.9%、「40～49歳」は33.3%となっている。

50歳から60歳以上の各年齢階級では「住宅(新築・購入・借り換え)」で、「50～59歳」は31.3%、60歳以上は22.2%となっている。(図62)

図62 県内移動者の年齢階級別移動理由割合【県西地域】(10歳以上原因者)

